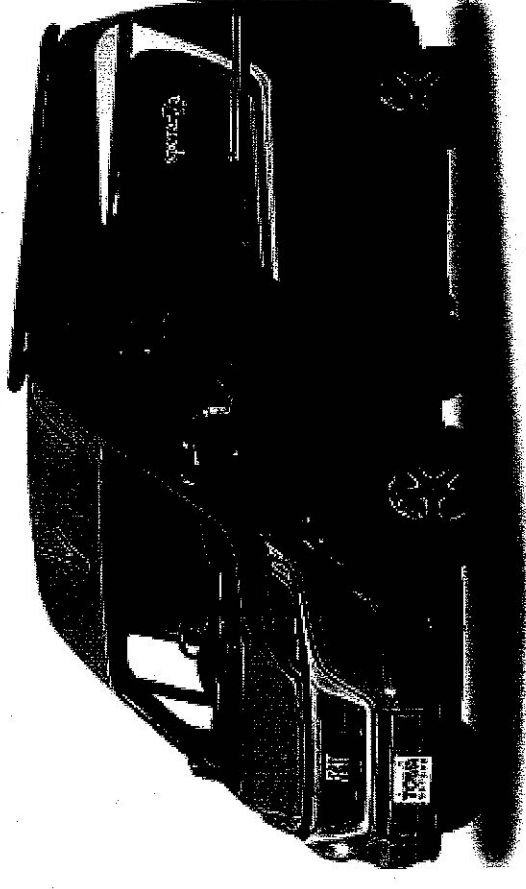


speranza

取扱説明書



 TOWA MOTORS

はじめに

この度は、TOWAのキャンピングカーをお買い上げ
いただきまして誠にありがとうございます。

本書は各部の取り扱い、装備などの
必要な情報を説明しています。

お客様に安全にお使いいただくために使用前に
必ずすべてお読みください。

お願い

- 本書はベース車両の取扱説明書と共に常にお車に保管
してください。
- ベース車両の取り扱いについては、ベース車両専用の
取扱説明書を参照してください。
- 仕様の変更は予告無く実施されることがあります。
あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は担当サービスマンにおたずねください。

目次

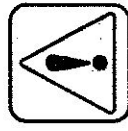
はじめに
目次

1. 本書について	… 1	8. ギャレー	… 33、34
2. 必ずお読みください		・冷蔵庫	… 35
・お出かけ前の各装備品の点検	… 2、3	・シンクセット	… 36
・走行中の注意	… 4	・電子レンジ	
・駐車中の注意	… 5、6		
・その他の注意	… 7		
3. 外装の説明	… 8		
4. 内装の説明	… 9	9. 空調	
5. 窓		・FFヒーター [㊦]	… 37、38
・アクリル窓	… 10	・マックスファンベンチレーター [㊦]	… 39
・網戸、シェード	… 11	・家庭用エアコン	… 40
・スライドドアフライネット	… 12		
・フロントスクリーン [㊦]	… 13～15	10. オプシヨン [㊦]	
6. シート、ベッドセッティング		・給排水タンク	… 41～43
・シートベルト	… 16	・ボイラー	… 44～47
・ダイネットテーブル	… 17	・シャワー	… 48
・セカンドシートベッド展開 (Cタイプ)	… 18	・オーニング	… 49～51
・シートセッティング	… 19～21	・ソーラーチャージャー	… 52
・ブルダウンベッド [㊦]	… 22～24	・ドッグライト	… 53
7. 電源、照明		11. 電動スライドステップ	… 54
・メインスイッチ	… 25	12. スペアタイヤ、工具	… 55
・バッテリー残量計	… 26、27	13. トラブルシューティング	… 56～57
・スイッチパネル(集中スイッチ)	… 28	14. 電気系統図	… 58
・外部電源と外部充電装置	… 29		
・ACコンセント、1500Wインバーター	… 30		
・バッテリー	… 31		
・ブレーカー、ヒューズ	… 32		

店舗案内 裏表紙

1. 本書について

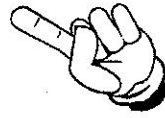
本書には下記のマークを用いています。
それぞれの意味は次のとおりです。



注意事項



オプション装備



操作上の
ワンポイント



注意事項のマークがあるところは特にご注意ください。
たい事項を説明しています。誤った使いかたをされると、
大事故に繋がるおそれがございますので、必ずお守りく
ださい。



必ずお読みください

快適なオートキャンプをお楽しみいただくため、必ずお守りいただきたい事項を
各項目別にまとめました。ご使用前に必ずお読みください。

2. お出かけ前の各装備品の点検

ユーザー様が日頃行う点検・整備は下記です

□サブバッテリーの残量チェックおよび充電

バッテリー残量計 → P.26,27

□各機器の作動チェック
水道ポンプやFFヒーター 図を含む電子機器
→該当ページをご確認ください

□給水タンク・排水タンク 図周りの水漏れチェック、水抜き

シンクセット → P.41

□タイヤの空気圧チェック

適正空気圧 → ベース車両の取扱説明書を参照してください。

長期使用しない場合は下記のお手入れを行ってください

□外部充電コードを家庭用コンセントに接続し、充電したままにしてください。

外部電源コード → P.29

家庭用コンセントに接続できない場合：

・ソーラーチャージャー 図を装備している場合は、

日の当たる場所に駐車してください。ソーラーチャージャー 図 → P.52

□給水タンク・排水タンクおよび配管の水抜きを行ってください。

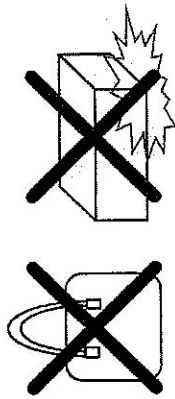
水抜きのしかた → P.46～47

□タイヤへの負担の偏りを防ぐため、時折車の位置を変えてください。

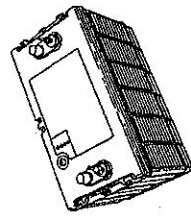
□定期的に車内の空気の入れ替えを行ってください。

2. お出かけ前の各装備品の点検

走行前には、ベース車両の取扱説明書に従い
「運転前の点検」を必ず行ってください。

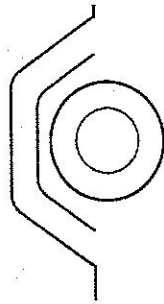


荷物は確実に固定された状態で収納してください。走行中にすべり落ちて、運転席へ飛び出したりすると危険です。

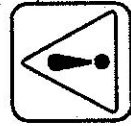


サブバッテリーは充電されていますか？
お出かけ前に十分な残量があることを確認してください。

バッテリー残量計 → P.26



1ヶ月1度、お出かけ前に空気圧の点検をしてください。推奨空気圧はベース車両の取扱説明書を参考にしてください。



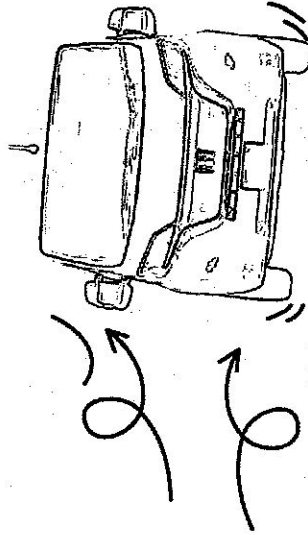
車の適正空気圧は車の積載量によっても標準の適正空気圧から変化する場合があります。

2. 走行中の注意



横風

普通車に比べて横風の影響を受けやすいのでご注意ください。



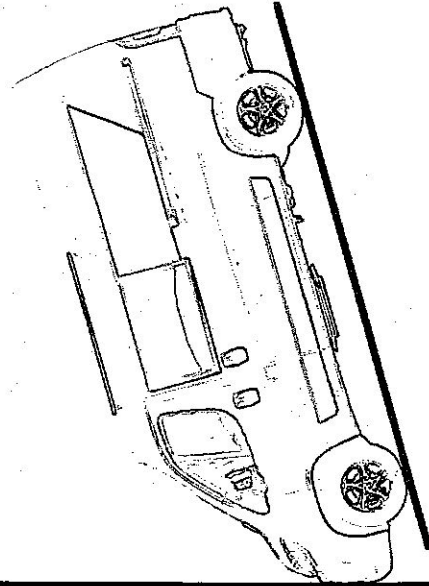
横揺れ・縦揺れ

普通車に比べて車重が重く、重心も高いため、横揺れや縦揺れが大きくなりますので、ご注意ください。



ブレーキ

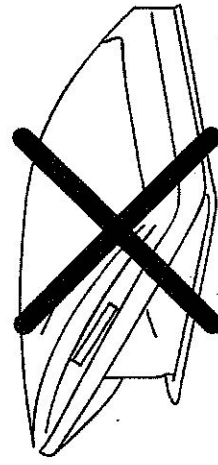
長い下り坂ではフットブレーキだけで走行せず、エンジンブレーキを併用してください。



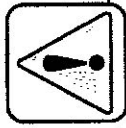
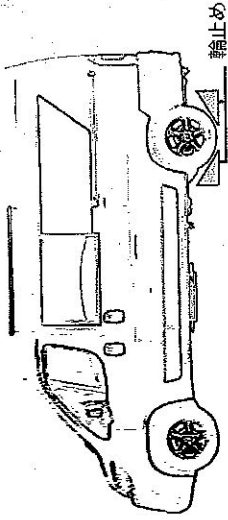
ルーフベント(換気扇) Op

走行時ベンチレーターは開けたままにしないでください。

マックスファンベンチレーター → P.39



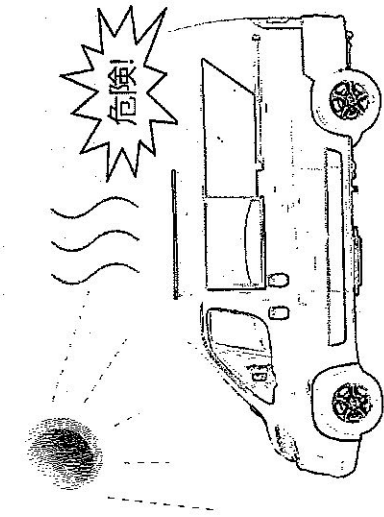
2. 駐車中の注意



車の駐車

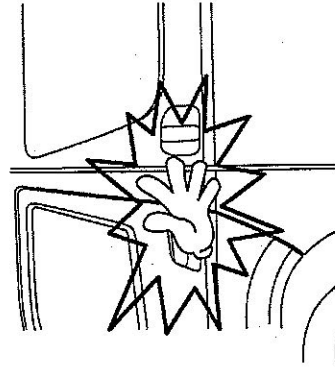
車は平坦で安全なところに駐車し、必ずパーキングブレーキをかけ、輪止めしてください。

輪止め



車内の換気

窓を閉め切ったままでは車内が高温になります。換気を十分に行ってください。
※特に炎天下では、換気を行っていても車内で小さなお子様を寝かせておくのは大変危険です。おやめください。

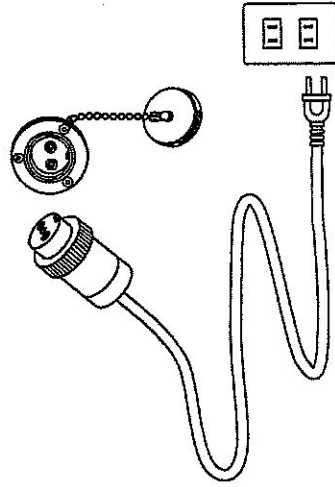


ドア・窓の開閉

ドアや窓の開閉時には手や指を挟まないように注意してください。



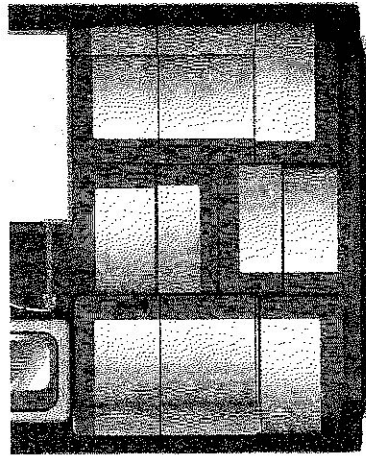
外部電源コード^{Op}



付属されている外部電源コードを差し込む際はメタルコネクタのキーを合わせ、必ずロックリングを締めてください。
また、外部コンセントに通電された状態でメタルコネクタの取り付け、取りはずしは行わないでください。感電の原因になります。
発車時は外部電源コードを抜いていることを確認してください。

外部電源コード → P.29

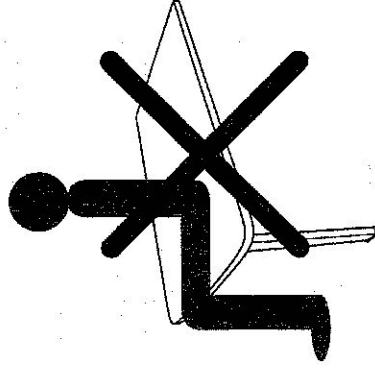
2. 駐車中の注意



ベッド

ベッドメイクをする際は指や手を挟まないように注意してください。
また、ベッドの上で跳ねたり暴れたりすると大変危険です。破損の原因にもなりますのでご注意ください。

特にお子様はご注意ください。

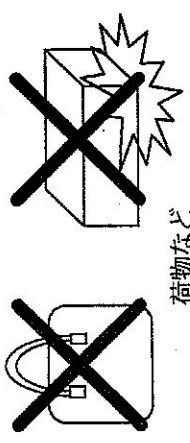
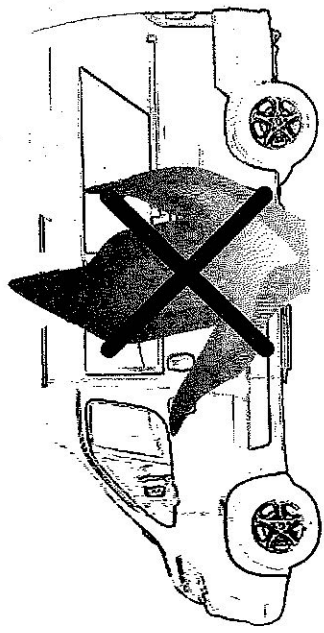


ダイネットテーブル

ダイネットテーブルの上に乗ったり、重たい物を載せたりしないでください。

ダイネットテーブル → P.17

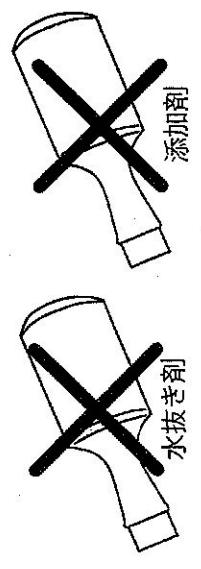
② その他の注意



荷物など



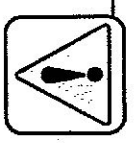
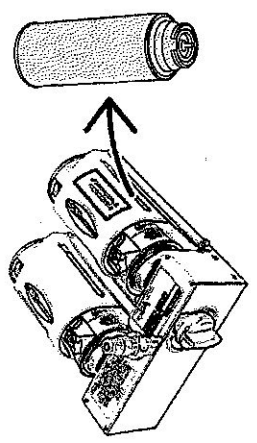
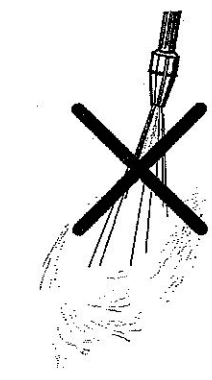
水



水撥き剤

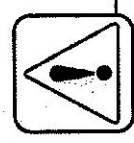


添加剤



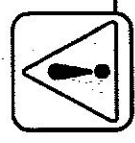
電気配線

安全のため電気設備の改造はおやめください。誤った配線は火災を招くおそれがあります。



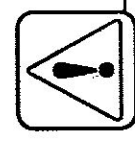
電気機器

機器の取り付けかたが適切でない場合、電子制御部品に悪影響を及ぼす事がありますので、取付の際は販売店にご相談ください。



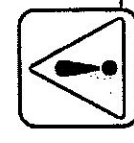
電気設備周辺

電気設備が設置されているところに物を入れたり、水が掛かってしまう事がないように注意してください。



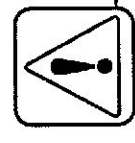
燃料

燃料タンクに添加剤や水抜き剤を混入しないでください。FFヒーターが破損します。また、給油中はすべての設備、機器を完全に停止してください。引火・発火の原因になります。



洗車

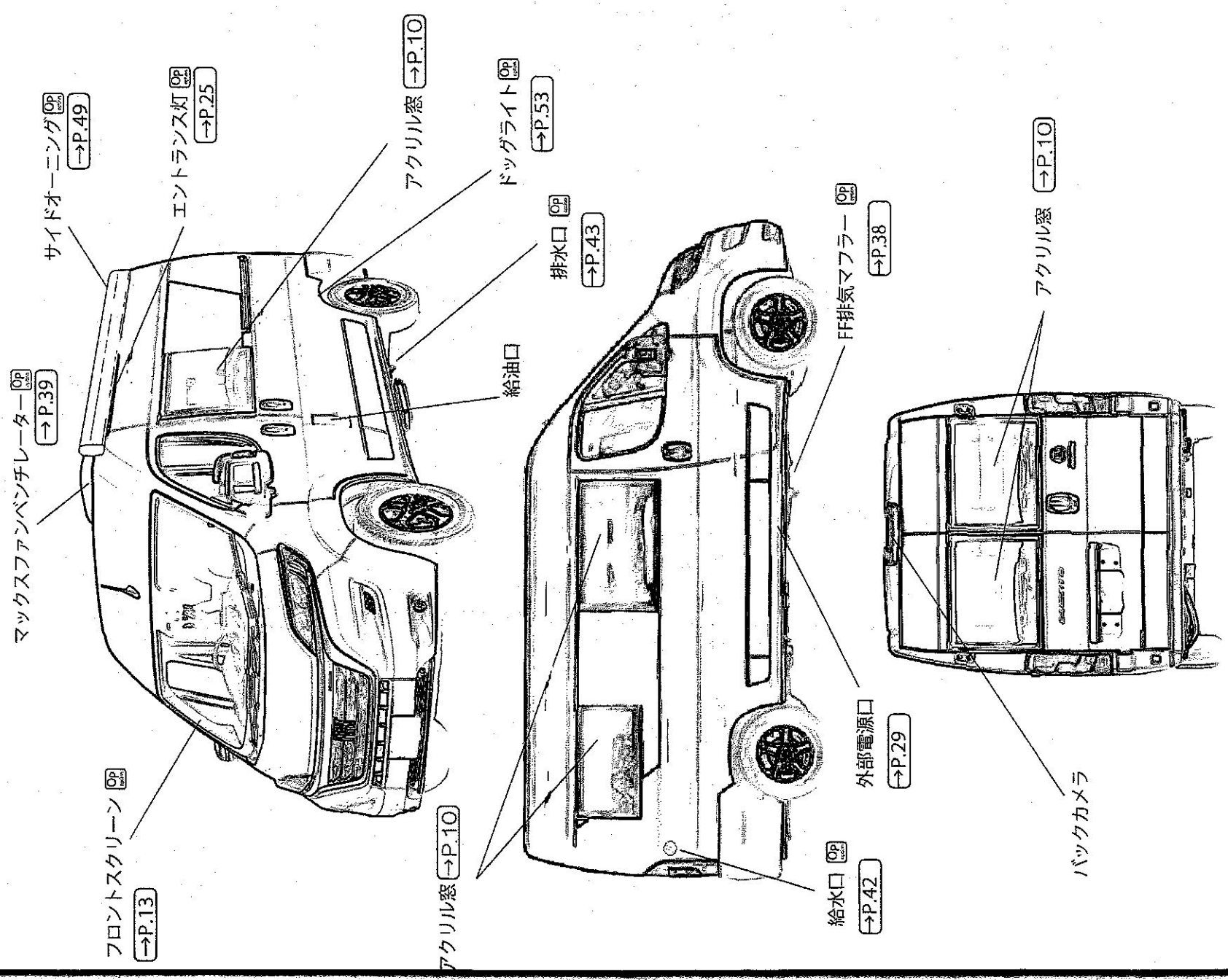
高圧洗浄機は車内へ水が浸入するおそれがありますので、使用しないでください。



ガスボンベ

ボイラーを使用しないときは、ガスボンベをガス供給器から取りはずし、車外の涼しい場所で保管してください。

③ 外装の説明



4. 内装の説明

【Bピラー】

- ・メインスイッチ 【→P.25】
- ・メイン照明スイッチ 【→P.25】
- ・エントランス灯スイッチ 【→P.25】
- ・電動ステップスイッチ 【→P.54】
- ・スライドドア フライネット 【→P.12】

【スライドドア上パネル】

- ・バッテリー残量計 【→P.26】
- ・ブルダウンベッド昇降スイッチ 【→P.22】
- ・水量計 【→P.22】
- ・充電容量切り替えスイッチ 【→P.31】

【ギャレー】

- ・シンクセット 【→P.35】
- ・冷蔵庫 【→P.33】
- ・電子レンジ 【→P.36】
- ・アシストテーブル 【→P.36】
- ・給排水タンク 【→P.41】

【ギャレー上】

- ・リヤベッド天井照明スイッチ 【→P.28】
- ・床フロア照明スイッチ 【→P.28】
- ・インバータスイッチ 【→P.30】
- ・水道ポンプスイッチ 【→P.45】
- ・家庭用エアコン 【→P.40】
- ・コンセント 【→P.30】

【セカンドシート足元】

- ・ヒューズ、ブレーカー 【→P.32】

・ダイネットテーパーブル 【→P.17】

【セカンドシート】

- ・シートベルト 【→P.16】
- ・ボイラー 【→P.16】
- ・カセットガス 【→P.44】
- ・FFヒーター本体 【→P.37】
- ・コンセント 【→P.30】

【天井】

- ・マックスファンベンチレータ 【→P.39】
- ・ソーラーチャージャー 【→P.52】

【マルチルーム】

- ・ジャワー 【→P.48】

・給排水60Lタンク 【→P.42】

・コンセント 【→P.30】

・シートベルト 【→P.16】

・工具 【→P.55】

5. アクリル窓

アクリル窓の開閉のしかた

窓を開けるときは、レバーを回し、ロックを解除してから開けてください。

・温度調節や換気をする場合は、右図の位置で固定してください。

アクリル窓の開閉防止チェーンについて

本車両には走行中のアクリル窓開閉防止の為、窓にチェーンを取り付けています。走行中にアクリル窓を開けると、風圧により窓が破損するおそれがありますので、アクリル窓の開閉は、駐車中のみ行ってください。

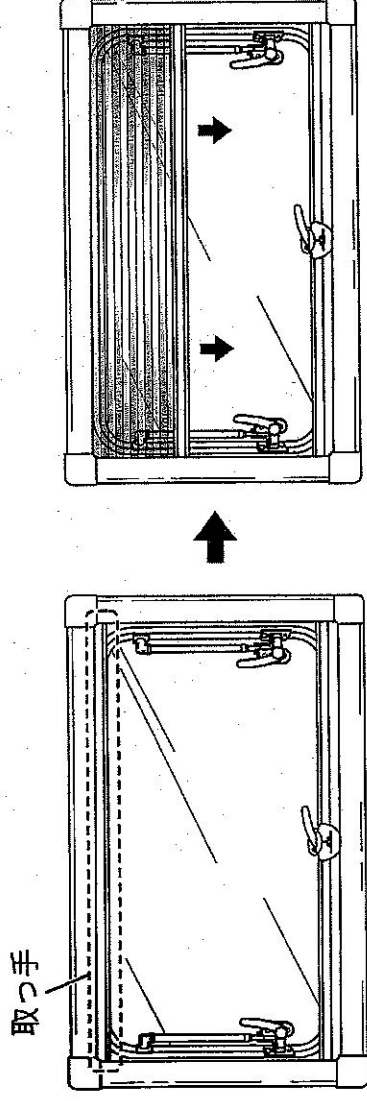
・窓の開け過ぎに注意してください。
(部品がはずれて、落下する可能性があります。)

・道路運送車両法により 250mm 以上開閉する窓へは開閉防止対策が義務付けられています。
継続車検を受けられる場合は、開閉防止チェーンが必要です。

5. 網戸、シェード

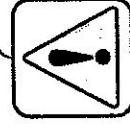
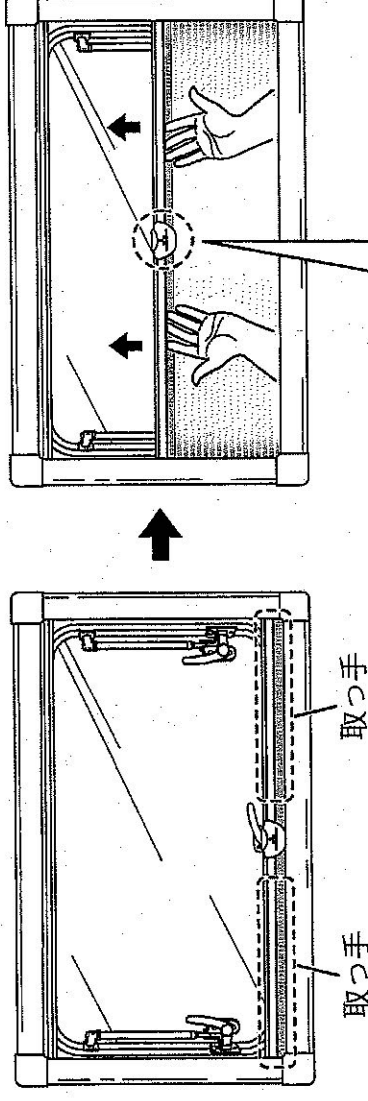
網戸の出しかた

取っ手を両手で持って、下にスライドします。



シェードの出しかた

取っ手を両手で持って、上にスライドします。



この部分をつまんでシェードを上げ下げしないでください。
ジョイント器具が破損する原因になります。

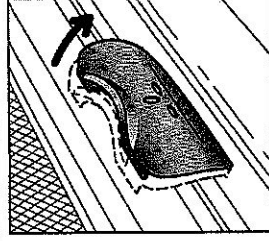


この部分は、取っ手ではありません。
網戸とシェードをジョイントする
ための器具です。

ジョイント器具

ジョイントの解除のしかた

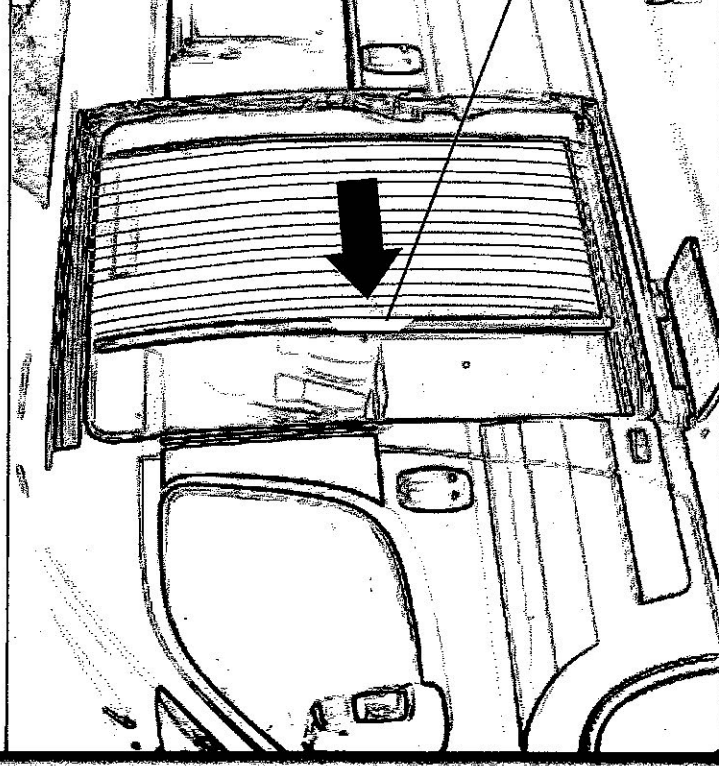
網戸とシェードのジョイントを解除
したいときは、ジョイント器具を手前
に引いてください。



スライドドア フライネット

フライネットの使いかた

ライドドアにはフライネットが取り付けられています。



スライドドアを開けて、
取っ手を横にスライドします。

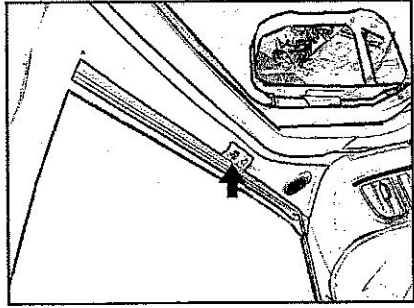
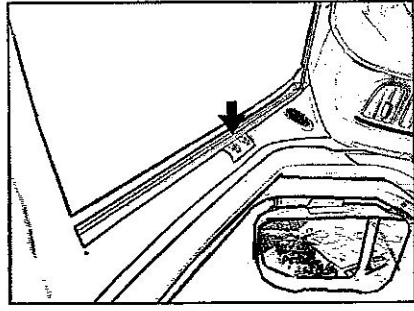
取っ手
(白いステッカー部分を持つと、
開閉がスムーズです)



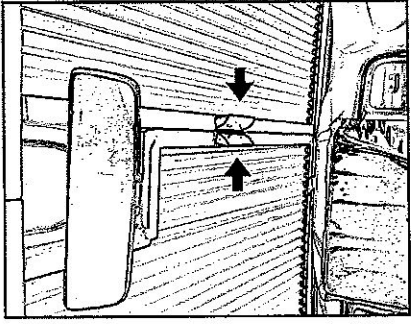
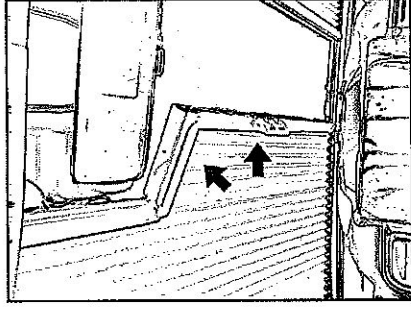
フライネット使用時はエントランスドアを開める事が出来ません。
無理に開めるとフライネットが破損する原因になります。

5. フロントスクリーン

フロントスクリーンの出しかた

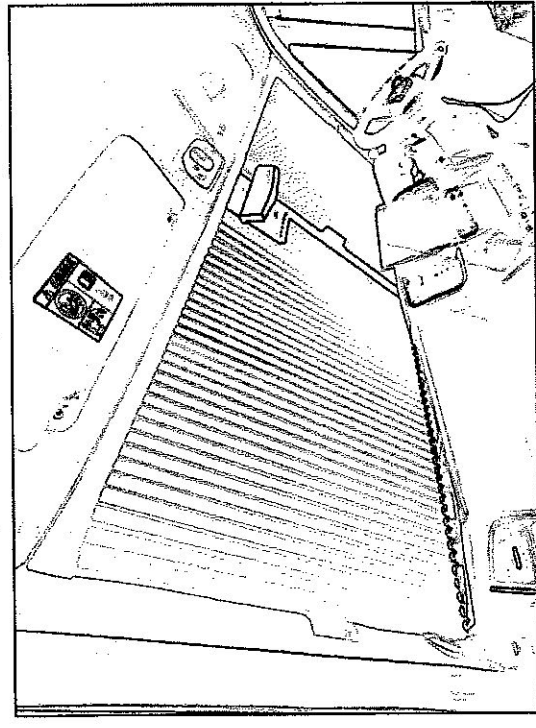


運転席側と助手席側のAピラーにある黒い取っ手をつまんで、スクリーンを引き出します。



助手席側のスクリーンは、ルームミラーをかわす為、下側半分が延びる構造になっています。

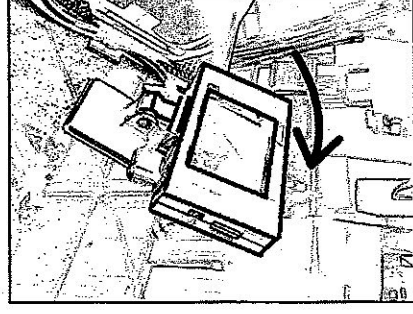
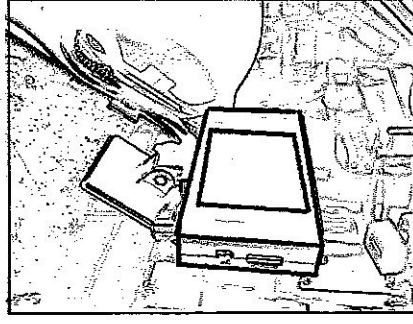
運転席側のシェードと助手席側のシェードにはそれぞれマグネットが付いているので中央部で互いをくっつけるとスクリーンが閉じた状態で固定されます。



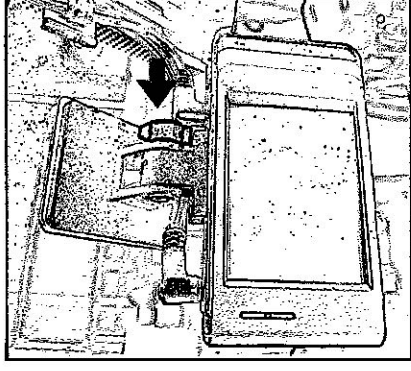
完成図

⑤ フロントスクリーン

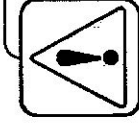
ドライブレコーダー装着車の場合



オプションでドライブレコーダーを選択されている場合、助手席側のスクリーンとドライブレコーダーが干渉してしまいますので、スクリーンを使用される際は、ドライブレコーダーの角度を上げ、フロントガラスに沿うように固定し、スクリーンをご使用ください。



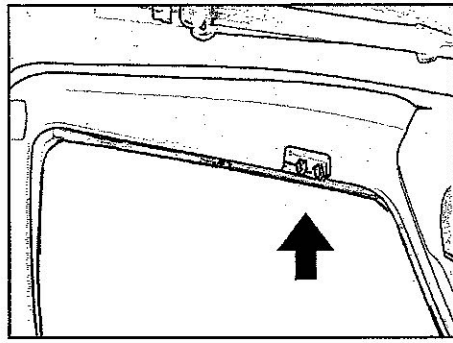
ドライブレコーダー上部のつまみを回すとドライブレコーダー本体の角度を変えられます。



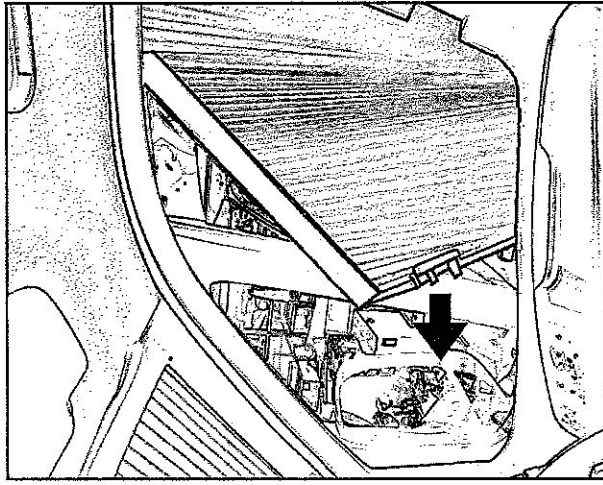
フロントスクリーンを使用後は、かならずドライブレコーダーを元の角度に戻してください。

5 フロントスクリーン

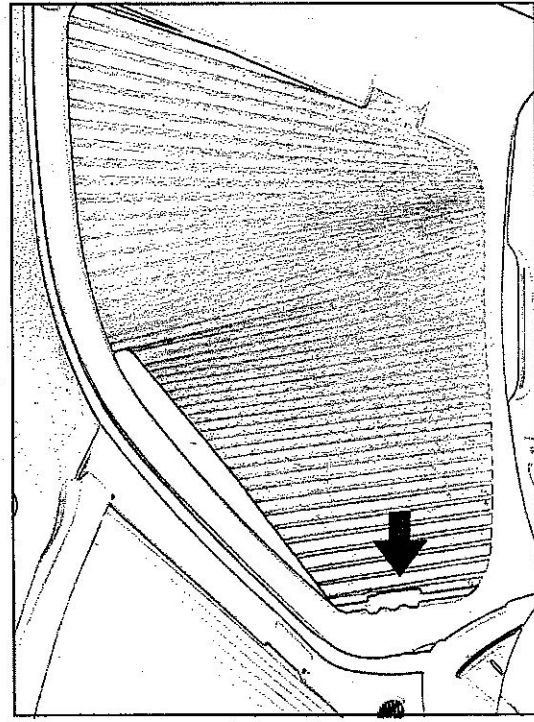
運転席・助手席ドアスクリーンの出しかた



運転席側と助手席側のAピラーにある
黒い取っ手をつまんで、
スクリーンを引き出します。



つまみを持ったまま、
窓の前側に向かって引き出します。



図の位置に
押し込むと固定されます。

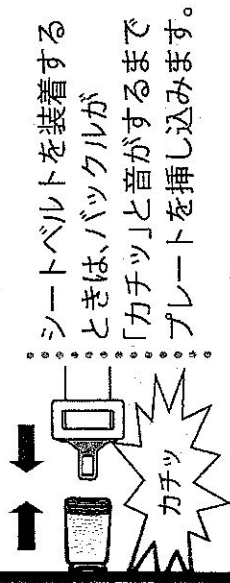
スクリーンの完成です。
戻すときは逆の手順で行います。

6 シートベルト

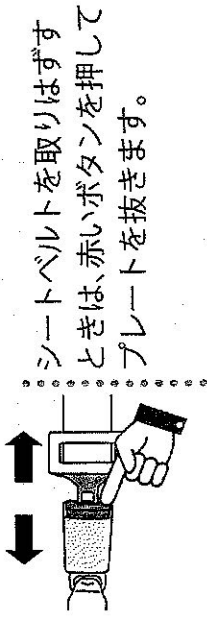


・安全のため、走行中は必ずシートベルトを装着してください。
・シートベルトを装着するときは、シートに深く腰掛け、必ず腰骨にかかる位置に長さを調節してください。腹部にかけると万一の時に強い圧迫を受け、危険な場合があります。

シートベルトの締めかた

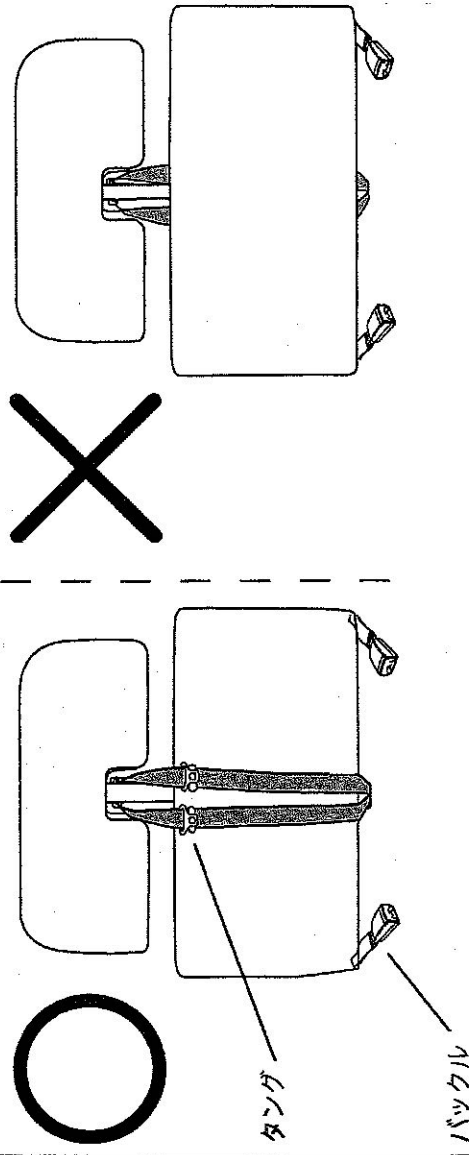


シートベルトのはずしかた



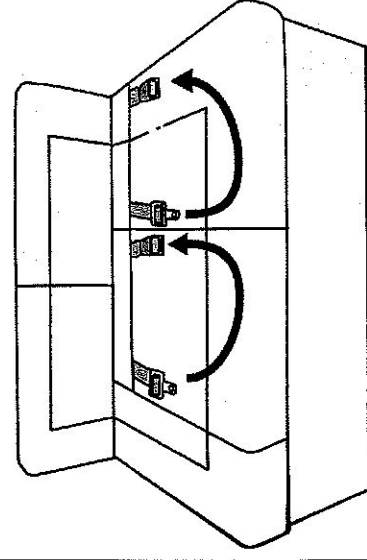
セカンドシート

セカンドシートのシートベルトは、背もたれに隠れないように注意してください。



二の字シート

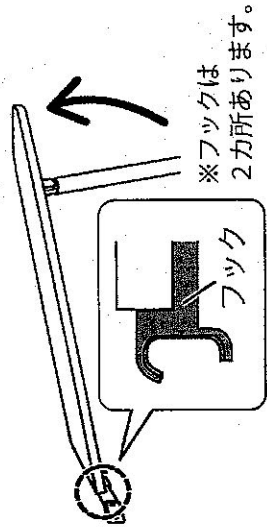
助手席側の二の字シートの内部に2点式の
シートベルトが取り付けられています。



走行時に二の字シートを使用
する場合は、必ずシートベルトを
着用してください。

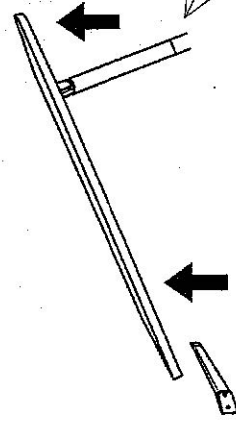
6. ダイネットテーブル

ダイネットテーブルの取りはずしかた

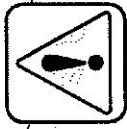


- ①ダイネットテーブルの脚が付いているほうを持ち上げて、ダイネットテーブルを傾けます。(ダイネットテーブルを 傾けるとフックがはずれます)

※フックは2カ所あります。

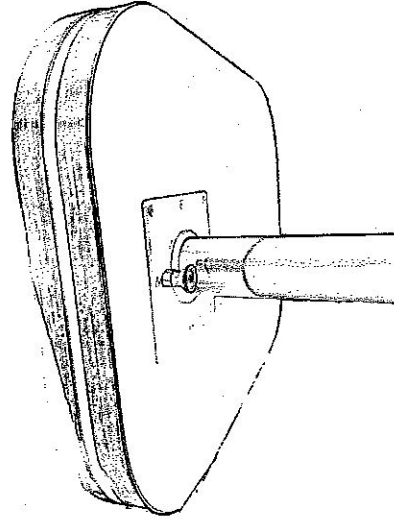


- ②そのまま、ダイネットテーブルを垂直に持ち上げると、ダイネットテーブルを取りはずすことができます。



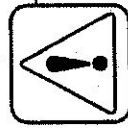
テーブル脚は分割式となっておりますので、脱着時の取り扱いにはご注意ください。

ダイネットテーブルの拡張の仕方



テーブル裏のつまみを引きながら、下側のテーブルを回転させると、テーブルを展開させることができます。

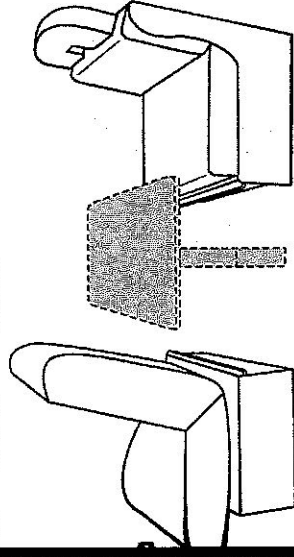
- ※テーブルは90° ごとに自動的に固定されます
- ※テーブルをしまう場合も同様の手順で操作してください。



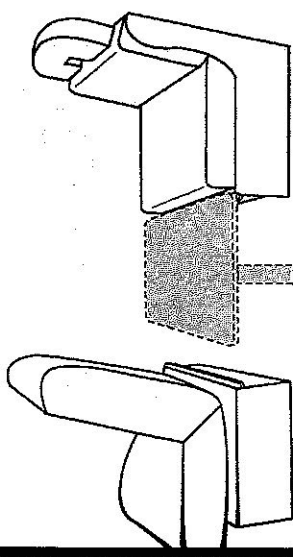
テーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。また、走行時はテーブルの上に何も置かないでください。

5. セカンドシートベッド展開 (Cタイプ)

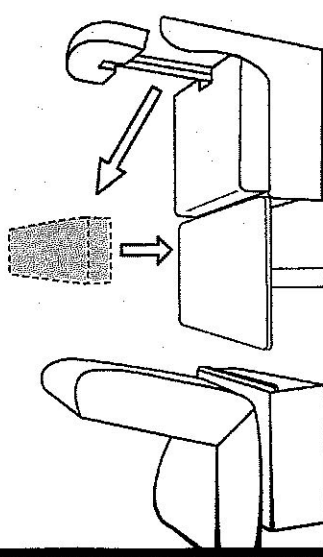
セカンドシートのベッド展開のしかた



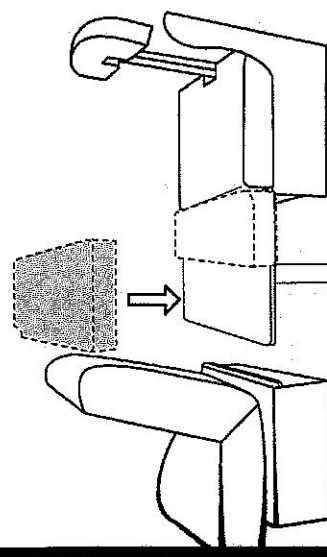
運転席を一番前側にスライドさせます。



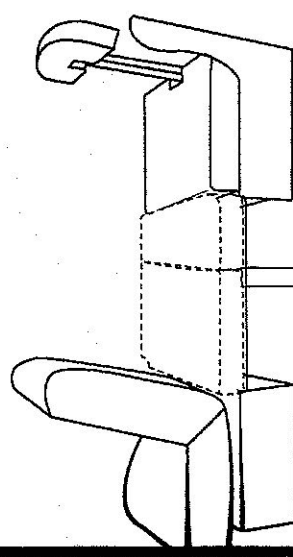
テーブルを取り外し、下段側の受けにセットします。



セカンドシートの背もたれを取り外し、テーブルの上にセットします。



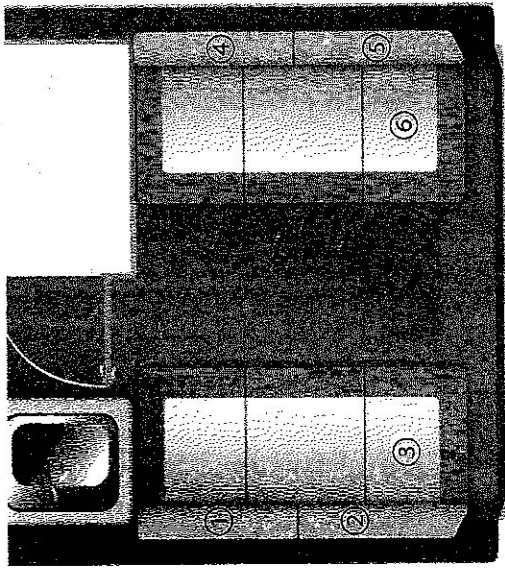
補助マットを運転席の土台とテーブルに跨るようにセットするとベッド展開の完成です。



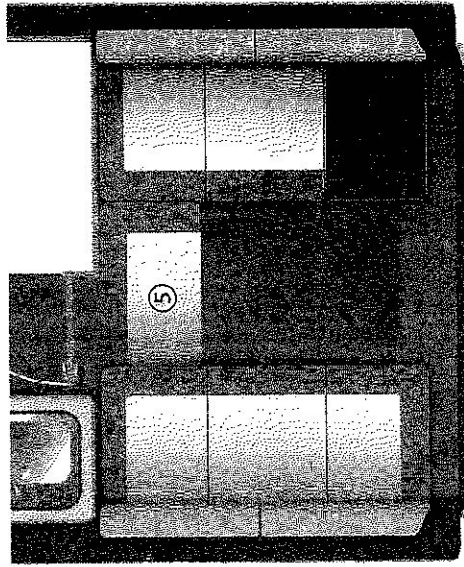
- ・シートを操作する際は指や手などを挟まないように注意してください。
- ・走行時は通常位置にしっかり固定されている事を確認してください。

6. シートセッティング

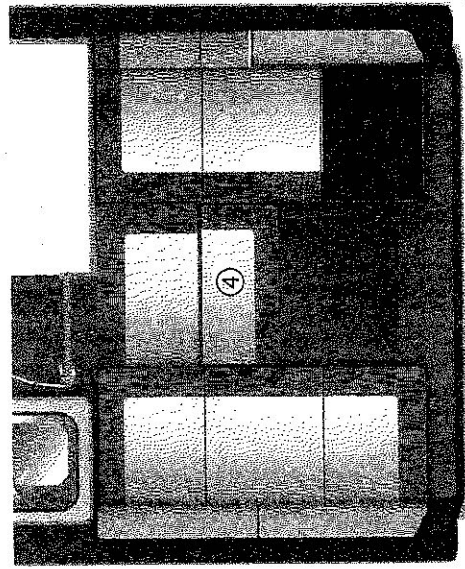
二の字シートのベッド展開のしかた



座席の状態です。



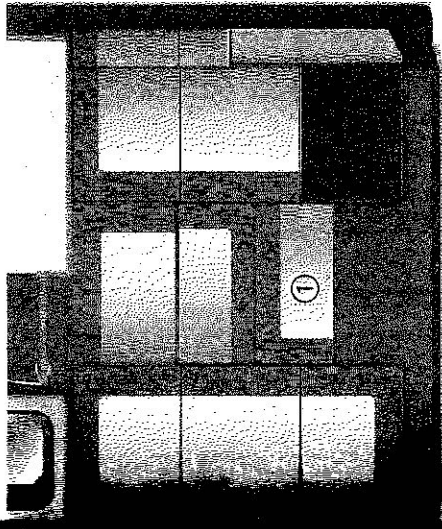
⑥のマットを取り外し、反転させ通路の一番前
置きます。



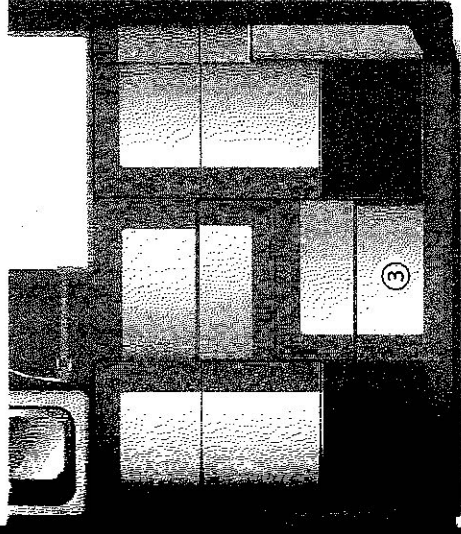
④のマットを取り外し、通路に置きます。

6. シートセッティング

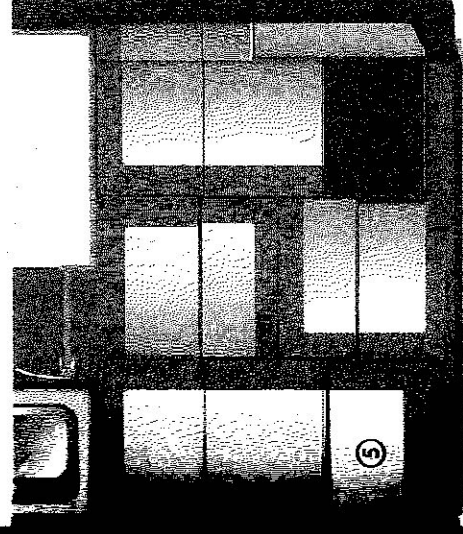
二の字シートのベッド展開のしかた



①のマットを取り外し、通路に置きます。



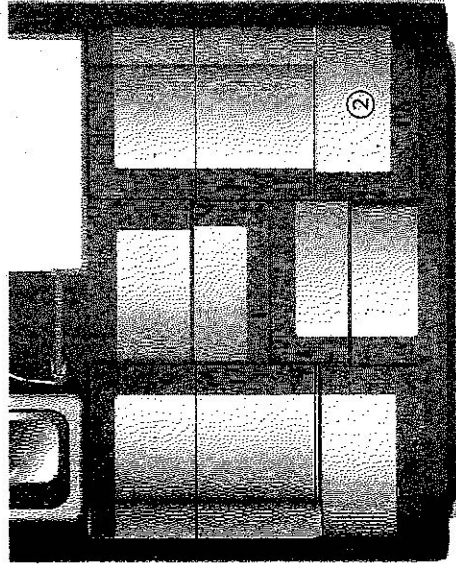
③のマットを取り外し反転させ通路に置きます。



⑤のマットを取り外し、③のマットがあった
場所に置きます。

⑥ シートセッティング

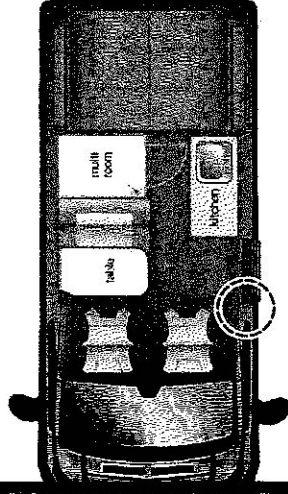
二の字シートのベッド展開のしかた



②のマットを取り外し⑥のマットがあった場所
置きます。

⑤ プルダウンベッド (OP)

プルダウンベッドの操作のしかた

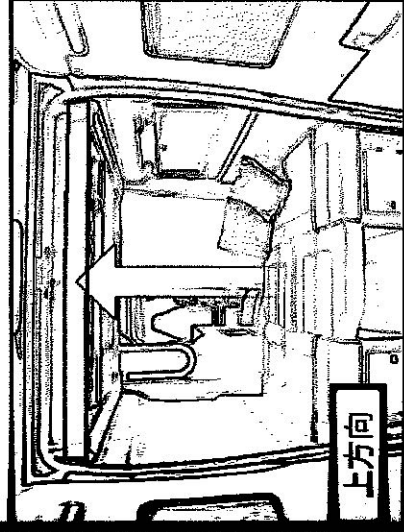
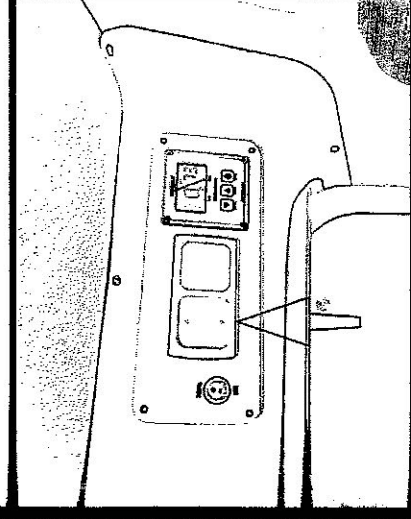


スライドア上にプルダウンベッドの
操作スイッチがございます。

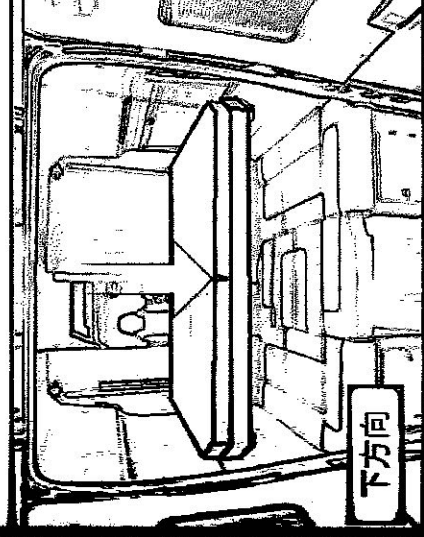
矢印のスイッチがプルダウンベッドの
操作スイッチになります。

上を押すとプルダウンベッドが上方向に動き、
下を押すとプルダウンベッドが下方向に動きます。

※押している時のみ稼働するようになっています。
手を離すと止まります。



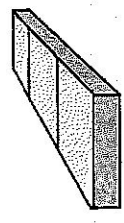
操作スイッチの上方向を押し続けると、
プルダウンベッドが一番上まで上がった時点で
自動的に止まります。
(絵の位置)



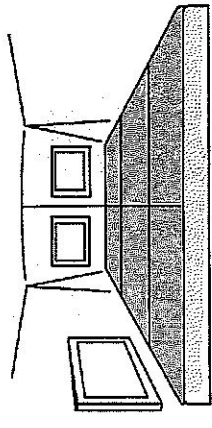
操作スイッチの下方向を押し続けると、
プルダウンベッドが一番下まで下がった時点で
自動的に止まります。
(絵の位置)

6. プルダウンベッド (OP)

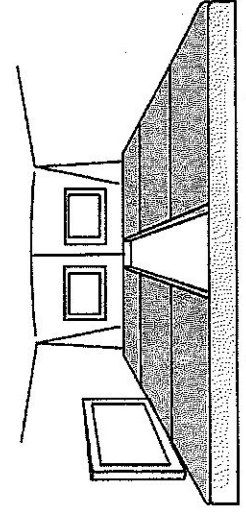
プルダウンベッドのセッティングのしかた(続き)



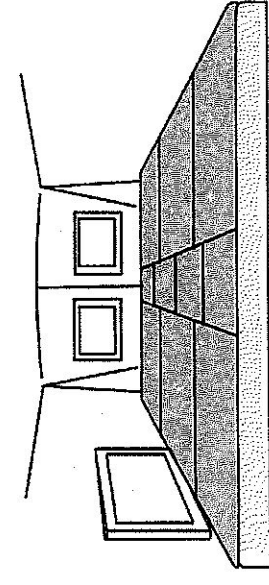
プルダウンベッドを拡張する為の補助マットが



プルダウンベッドを好みの位置に下げます。



プルダウンベッドのマットを左右に広げます。

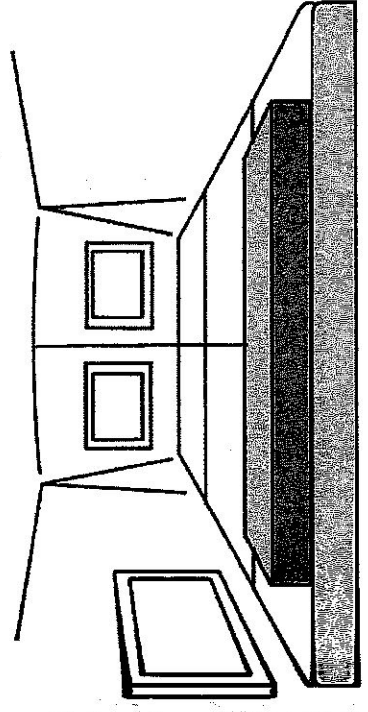


中央に補助マットを入れると拡張ベッド展開の完成です。

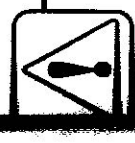
※プルダウンベッドを昇降させる場合は必ず元の形に戻してください。

6. プルダウンベッド (OP)

プルダウンベッドの注意事項

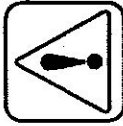


拡張マットを使用しない場合は一番手前に置いてください。
(プルダウンベッドを上げた際に天井照明と干渉するおそれがあるためです)



- ・走行時はベッドを使用しないでください。
- ・就寝時、落下には十分で注意ください。
- ・使用しないときは、必ず拡張部分を収納してください。
- ・人が乗った状態でベッドを動かさないでください。
- ・過剰な負荷が掛かると安全装置が働き停止します。再度操作する為にはヒューズの交換が必要です。

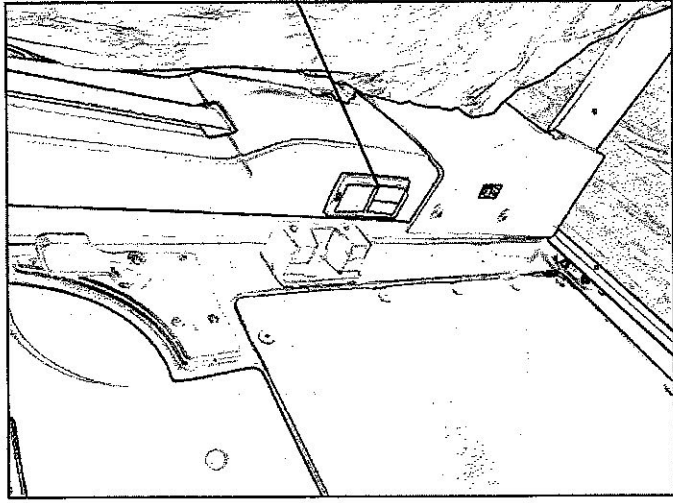
7. メインスイッチ



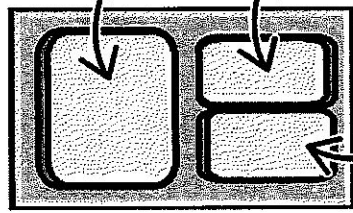
- ・安全のため、電気設備の改造はおやめください。
- ・器具や装備品の取り付けかたが適切でない場合、電子制御部品に悪影響を及ぼす可能性があります。取り付けるときは、最寄りの販売店にご相談ください。
- ・誤った配線は火災を招く恐れがあります。

メインスイッチ

メインスイッチは下図の位置にあります。



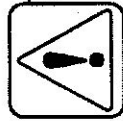
スライドドア足元



メインスイッチ

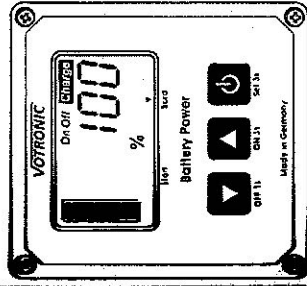
ダイネット部メイン照明ス

エントランス灯スイッチ



- ・メインスイッチが「OFF」になっている場合は、FFヒーター以外のすべての電装機器が作動しません。
- ・メインスイッチを「OFF」にしてもFFヒーターは稼働し続けますので、バッテリーあがりに注意してください。

7. バッテリー残量計



メインバッテリー、サブバッテリーの残量の目安にしてください。

※メインバッテリーは、電圧のみの表示となります。

充電状態の確認のしかた

充電中は、液晶画面に **Charge** が表示されます。
バッテリー残量計のA表示(電流値)で確認できます。

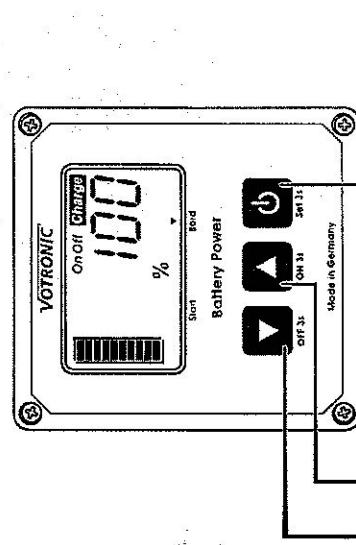


下記の場合は、サブバッテリーの電圧が高くなっていて、すぐには充電が開始されない場合があります。

- ・ソーラーチャージャーを搭載している場合
 - ・外部電源コードを使用して充電した直後(走行充電を確認したいとき)
 - ・走行直後(外部電源コードを使用して充電を確認したいとき)
- 電圧が下がると自動で充電が開始されます。

バッテリー残量計の操作方法

画面表示は下記のように切り換わります。



電源ボタン

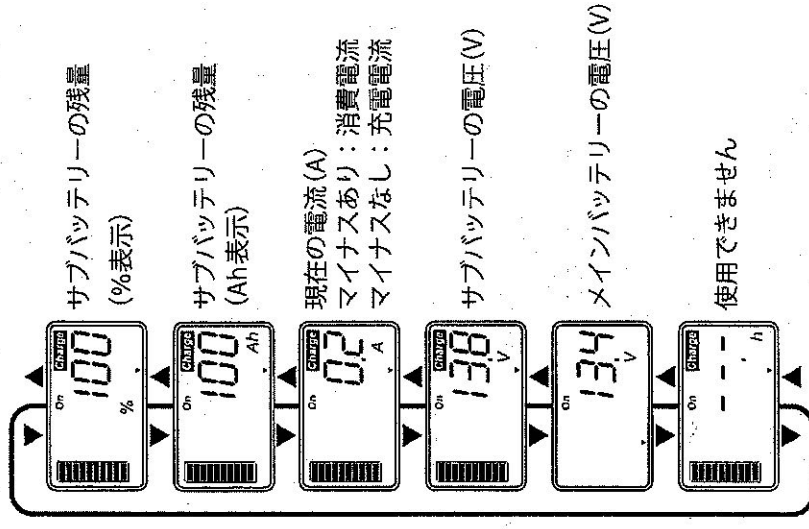
短押し：画面表示のON/OFF
長押し：設定画面(納車時に設定済みのため、操作しないでください。)

▲ボタン

短押し：表示の切り替え
※長押しはしないでください。

▼ボタン

短押し：表示の切り替え
※長押し(3秒以上)：通常は使用しません。
バッテリー残量計の補正のしかた [→P.27]



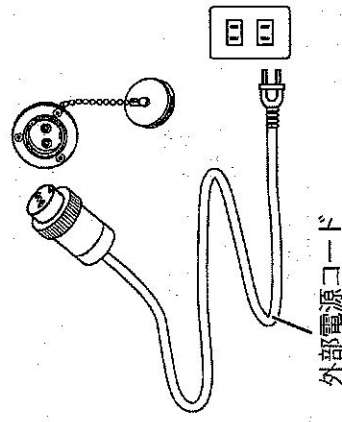
用回数を重ねると、実際にバッテリーに充電されている容量とバッテリー残量計の表示に誤差が生じてきます。そのため、定期的にバッテリー残量計の補正をする必要があります。
バッテリー残量計の補正のしかた [→P.27]

7. バッテリー残量計

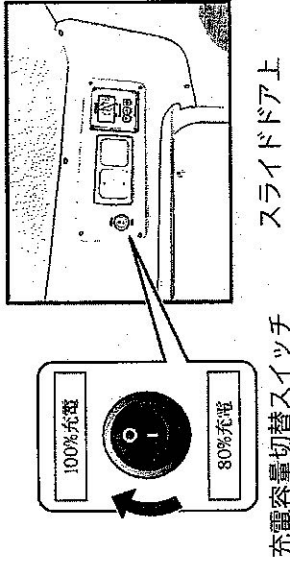
バッテリー残量計の補正のしかた

使用回数を重ねると実際にバッテリーに充電されている容量とバッテリー残量計の表示に誤差が生じてきます。そのため、定期的にバッテリー残量計の補正をする必要があります。下記手順に従ってバッテリー残量計の補正を行ってください。

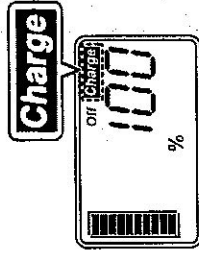
- ① 付属の外部充電コードを使用して、充電を行います。(→P.29)



- ② 充電容量切替スイッチを「100%充電」(上側)に切り替えます。

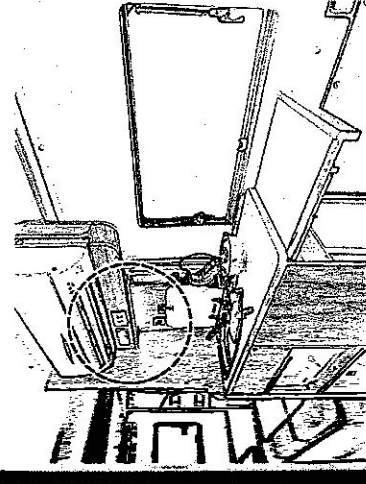


- ③ 液晶右上の **Charge** が消えるまで、充電を続けます。

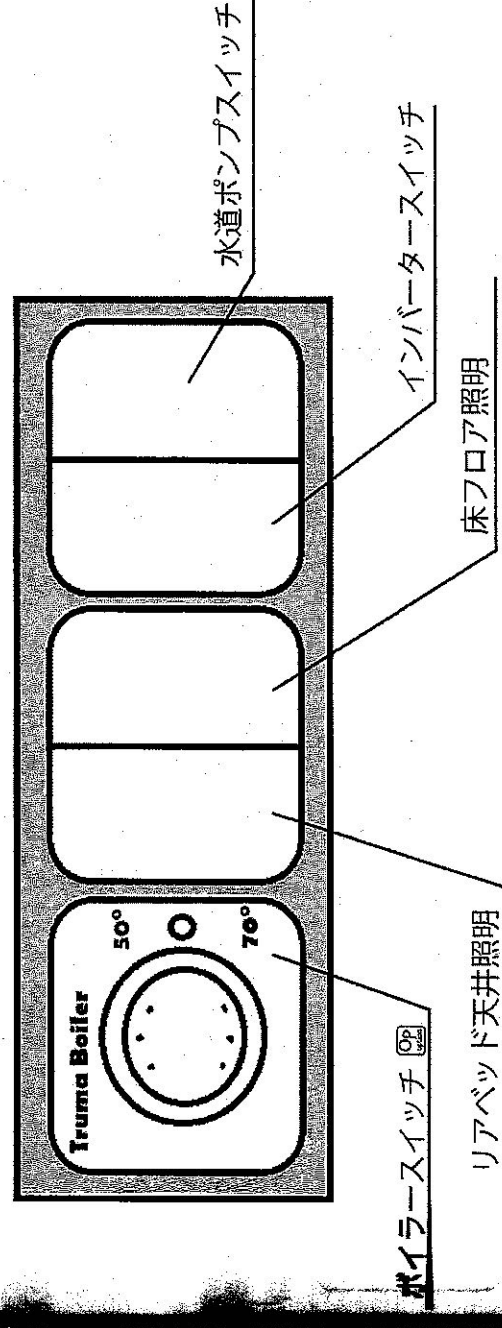


残量計の補正を行うときは、サブバッテリーの電気を消費していない状態で行ってください。(メインスイッチ、FFヒーター、インバーターなどを全てOFFにする) 電気を消費しながら補正充電を行うと、サブバッテリーが過充電になるおそれがあります。

7. スイッチパネル (集中スイッチ)



スイッチパネル

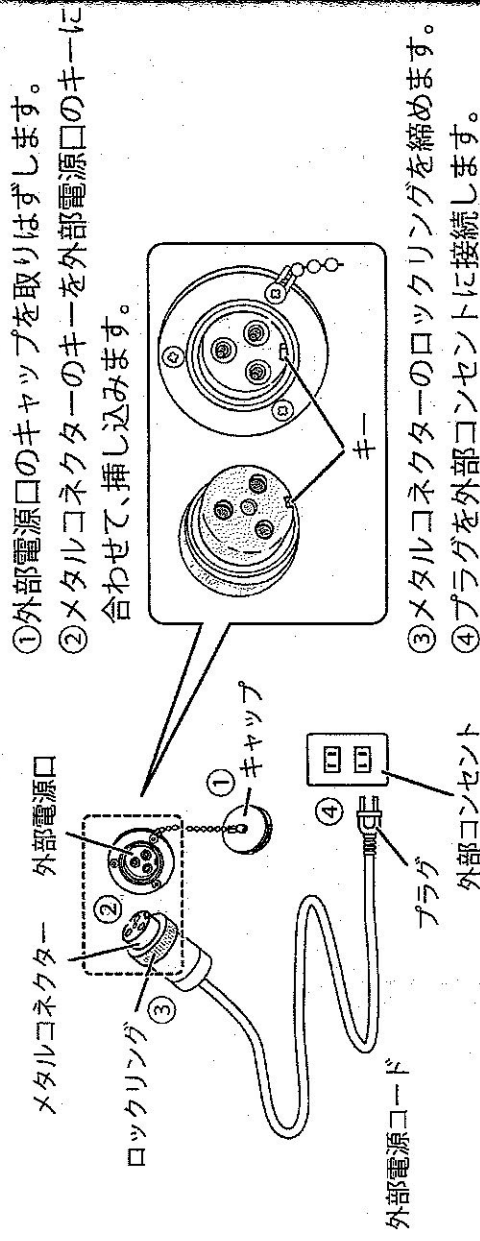


スイッチパネルはメインスイッチに連動しています。メインスイッチを「ON」にするとスイッチパネルの各スイッチの「ON/OFF」操作をすることができます。

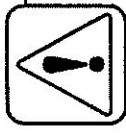
7. 外部電源と外部充電装置

付属している外部電源コードをAC100Vとボディにある外部電源口に接続すると、車内で100V電源をご利用になれると同時に、サブバッテリーの自動充電が行われます。

外部電源コードの接続のしかた



取りはずすときは、感電を避けるため、逆の手順④→③→②→①で操作してください。



- ・プラグが外部コンセントに接続しているとき(通電しているとき)は、メタルコネクタを操作しないでください。
- ・発車時は外部電源コードをはずして、キャップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

外部充電装置について

外部から供給される100Vを使ってサブバッテリーを充電する装置です。

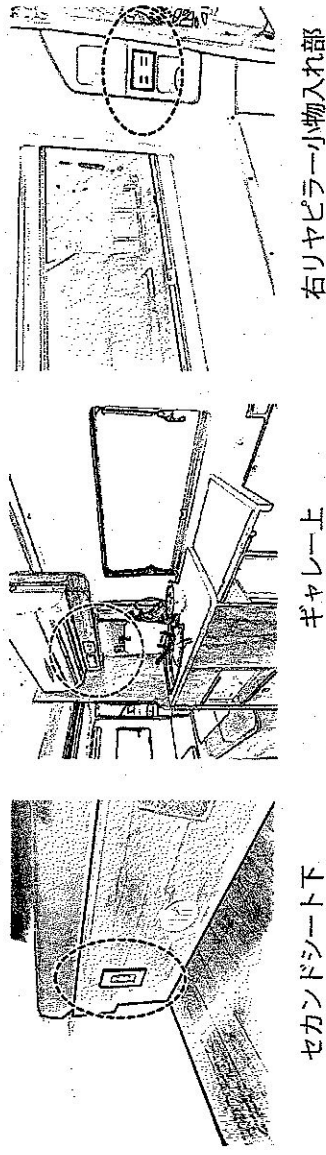
- ※ サブバッテリーの使用前後は必ず充電してください。
- ※ 走行直後はサブバッテリーの電圧が高くなっているため、外部電源コードを接続してもすぐには充電を開始しない場合があります。電圧が下がると自動で充電が開始されます。
- ※ 充電していることを確認したい場合は、バッテリー残量計の「現在の電流(A)」と画面に「Charge」が表示されていることで確認できます。(→P26)
- ※ 車内で電子機器を使用している場合は充電が遅くなる場合があります。



- ・車内のACコンセントは合計15A(1500W)以下で使用してください。
使用可能容量を超えるとブレーカーが落ちます。
- ・濡れた手でコンセント部を触ったり、機器コンセント以外のものを詰めたりしないでください。感電の恐れがあります。
- ・コンセントの追加や改造は行わないでください。

7. ACコンセント、1500Wインバーター

外部コンセントに接続している場合、またはインバーターを動作している場合は、ACコンセントで100Vの電子機器を使用することができます。

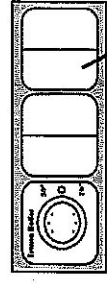


外部コンセントに接続してACコンセントを利用する場合

- ① 外部電源コードを使用して、外部コンセントに接続します。(→P29)
- ② 使用したい電子機器のプラグをACコンセントに差し込みます。

1500Wインバーターを使用してACコンセントを利用する場合

ACコンセントを使用できない場合に、インバータースイッチを入れて100Vの電子機器を使用することができます。



インバータースイッチを「ON」にします。
 使用したい電子機器のプラグをACコンセントに挿し込みます。
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍

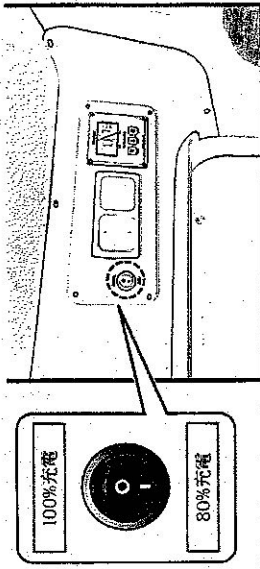
7. バッテリー

リチウムイオンバッテリーの管理のしかた

- ・車両保管時はバッテリーが50%~80%を維持するようにしてください。
- ・使用時はバッテリーが30%以下にならないようにしてください。
- ・0%まで使用できず、バッテリーへの負荷が大きくなり、劣化が早まる原因になります。
- ・長期間使用しない場合でも月に1回充電容量切替スイッチを「100%充電」にしたうえで満充電にしてください。

充電容量切替スイッチ(100%充電⇔80%充電)

- ・リチウムイオンバッテリーの特性として、満充電にしないほうが寿命が延びるといわれています。充電容量切替スイッチを「80%充電」にしておくことで、サブバッテリーの容量が80%を超えたときに自動で充電を停止します。さらに、電子機器の使用または待機電力による消費でサブバッテリーの容量が75%以下になると、自動で充電を再開します。
- ・充電容量切替スイッチを「100%充電」にし、バッテリー容量をフル活用することも可能です。



充電容量切替スイッチ

充電時間の目安

(サブバッテリー残量50%から電子機器を使用せず100%まで充電した場合)

- 走行充電: 4~5時間
- 外部充電: 9~10時間
- ※充電容量切替スイッチが「80%充電」で外部充電をしているときは、「100%充電」時よりも充電速度が遅くなります。
- ※走行充電は、充電容量切替スイッチが「80%充電」であっても、100%まで充電されます。

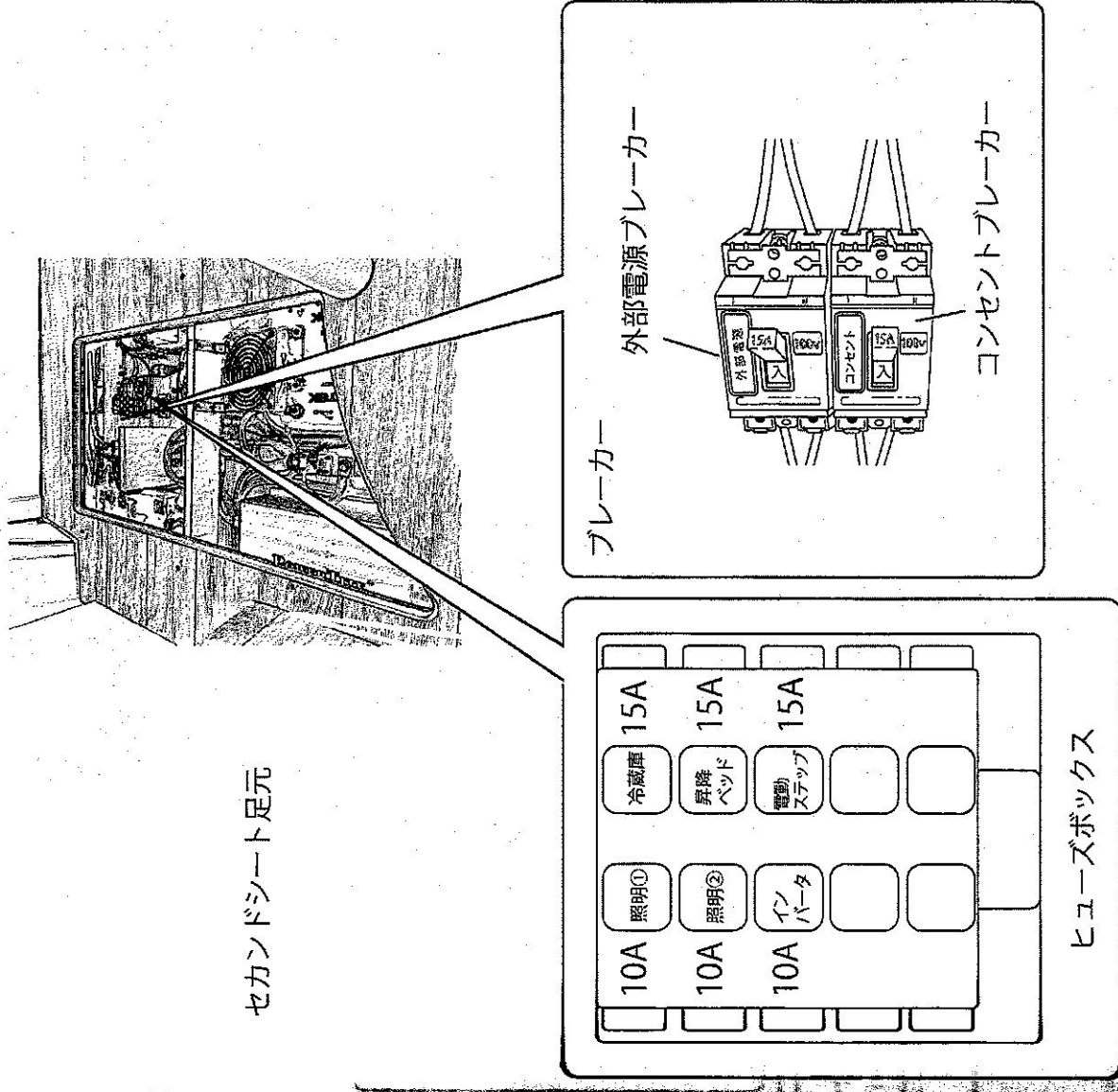
リチウムイオンバッテリーの寿命

- ・バッテリーの寿命は10年程度を想定していますが、使用環境等によって大きく変動します。
- ・バッテリーは、使用中に容量が徐々に低下し、寿命末期に達します。

ブレーカー、ヒューズ

ブレーカー、ヒューズの位置

ブレーカー、ヒューズは下図の位置に設置されています。



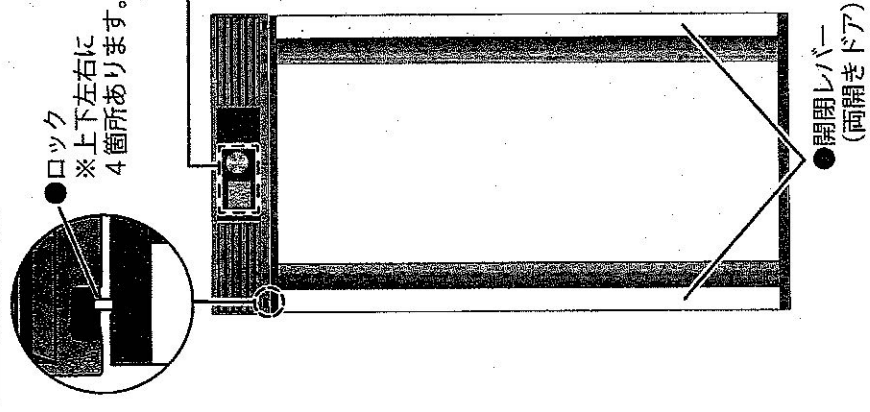
セカンドシート足元



- ・万が一ヒューズが切れた場合はヒューズの容量を決めて上げてください。(火災や機器の故障の原因になります。)
- ・ブレーカーまたは30A以上の大型ヒューズが切れた場合は電気の使いすぎ、またトラブルの可能性がありしますので、最寄りの販売店にご相談ください。

8. 冷蔵庫

冷蔵庫の使いかた



● ロック
※上下左右に4箇所あります。

● 温度レベル(1~5)
● 点灯(青): コンプレッサー稼働中
● 点灯(白): コンプレッサー停止中
● DC電源での動作
● エラーコード付き警告表示

● ユーザーモード(運転モード)
● パワーマンズモード: 設定可能な温度レベル(1~5)
● サイレントモード: 設定可能な温度レベル(1~3)
● プーストモード(急冷モード): 設定可能な温度レベルなし
● サイレントモードまたはパワーマンズモードを設定した場合、8時間後に自動的にパワーマンズモードに戻ります。
(パワーマンズモードで設定していた温度レベルに戻ります。)
● 使用しません。
● CI 使用しません。
● チャイルドロック (操作ボタンを1.5秒以内に3回押すと、一時的に解除できます。10秒間操作しないと再度ロックします。)
● 消音 (ON にするとドアが開いたまま約2分間経過しても、警告音が鳴らなくなります。)



・走行前に必ず上下左右のロックが掛かっていることを確認してください。
・走行中に庫内の物が飛び出てきたり、破損の原因になります。

エラーコード内容

すべての不具合は警告マーク、警告音、エラーコードでお知らせします。
警告マークは、ディスプレイの中央に④が表示された不具合コードが表示されます。
警告音は、2分間鳴り続きエラーが修正されるまで30分ごとに繰り返されます。

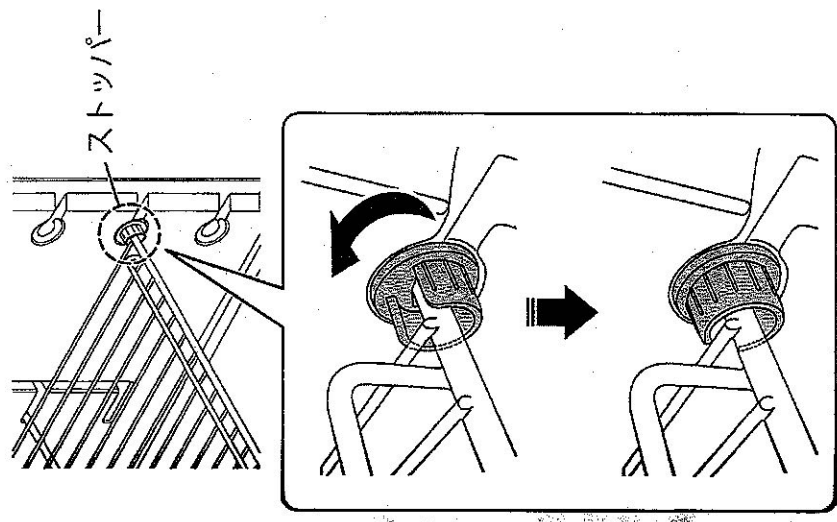
不具合コード	警告音	不具合	解決方法
W02	なし	冷蔵庫内の温度センサーの欠陥	▶ 最寄りの正規のお客様相談室にご相談ください
W04	なし	CIバス※ 不具合	▶ ドアを開めてください
W10	あり	2分以上ドアが開いた状態	▶ 調整されると、自動的にリセットされます
W11	あり	DC電圧が7.5V未満	
W19	あり	DC電圧が10.9V未満	
E03	あり	通信不良	
E32	あり	ファンに印加される電流値が異常に高い	
E33	あり	コンプレッサが起動しない	▶ 操作ダイヤル/ボタンを2秒間以上押すと、警告音が鳴り、リセットされます。
E34	あり	コンプレッサ過負荷	
E35	あり	コンプレッサコントロールユニット内の回路遮断	

※CIバス=ドイツのキャラバン協会が主導するCI-BUS車載管理システム 日本向け製品にこの機能はありません。

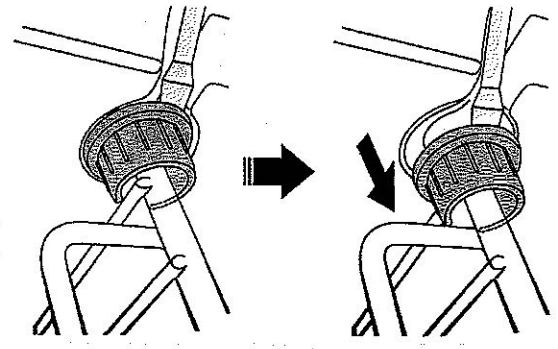
3. 冷蔵庫 (70L)

棚のはずしかた

はずしたい棚のストッパーの形状を確認し、開口部が棚をかわせる位置に回す。



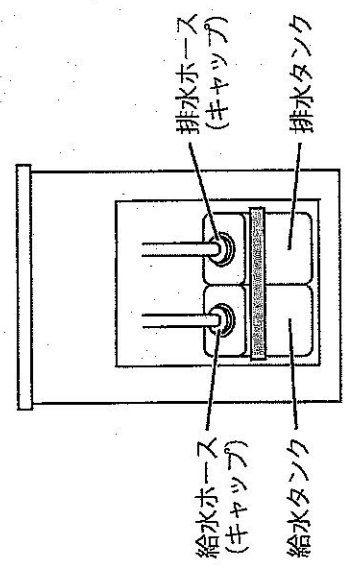
イナズドライバーなどを使用し、ストッパーを内側に動かす。



※取り付けの際は、逆の手順で行ってください。

8. シンクセット

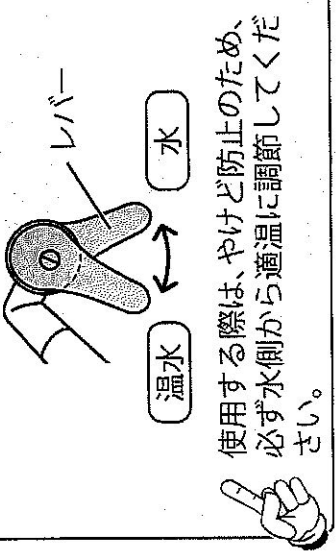
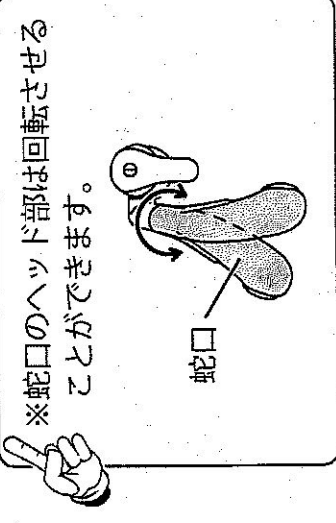
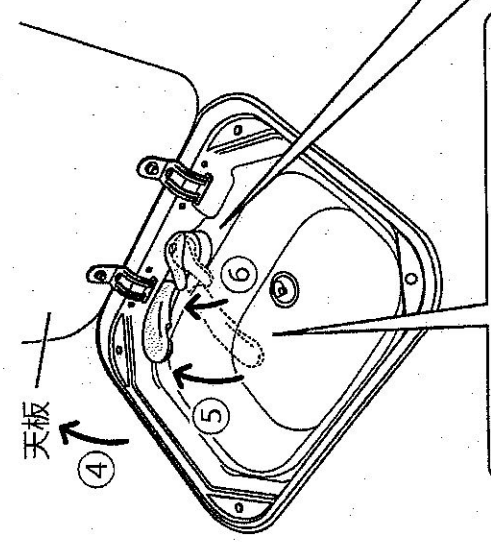
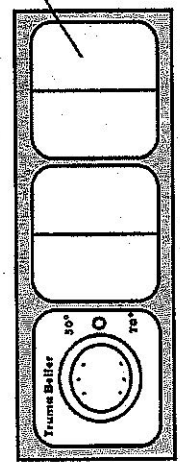
シャワーホースの使いかた



- ① 給水タンクに水を入れます。
① 給水ホースのキャップを取り出します。
② 給水タンクに水を入れます。
③ 給水タンクを元の位置に戻し、キャップを閉めます。
(給水ホースは底まで入れてください)

- ② メインスイッチを「ON」にします。
- ③ 水道ポンプスイッチを「ON」にします。
- ④ 天板を上げます。
- ⑤ 蛇口を上げます。
- ⑥ レバーを上げます。
(水が出ます。)

水道ポンプスイッチ



※温水ボイラー^{OP}使用時は、レバーを左に回すと温水が出ます。

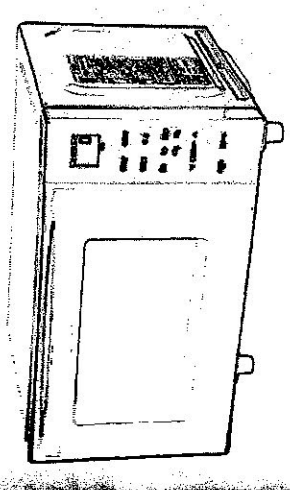
使用の際は、やけど防止のため、必ず水側から適温に調節してください。

※蛇口のヘッド部は回転させることができます。

- ・タンク内に水が無い状態で給水ポンプを回すと、ポンプが破損しますので注意してください。
- ・使用したあとは、必ず「ポンプ」スイッチを「OFF」にしたあと、レバーを上げて、蛇口内の残水を抜いてください。(残水の漏れや腐食、冬期は配水管の凍結の原因になります。)

電子レンジ

電子レンジの使いかた



- ※外部コンセントに接続している場合、①の操作は不要です。
- ① インバータースイッチを「ON」にします。
(約3秒後に作動します。)
 - ② 付属の電子レンジの取扱説明書に従い、要領を守って使用してください。

使用上の注意

インバーターで使用する場合は、サブバッテリーの残量(%)を確認してください。サブバッテリーの残量が減少していると、インバーターで必要とする電圧を供給できず、途中で停止します。

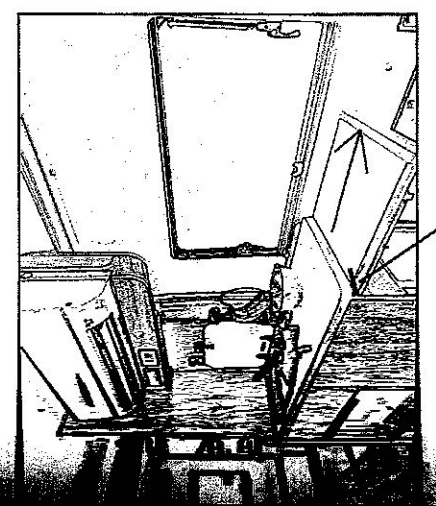
発電機を搭載している場合、または外部電源の受給が可能な場所では、極力発電機または外部電源を使用し、インバーターによるサブバッテリーの消費を避けてください。

電子レンジと家庭用エアコンの併用はできません。使用するときは、家庭用エアコンの運転を止めて使用してください。

家庭用エアコンの運転を切り忘れて、電子レンジの運転が止まってしまった場合は、インバータースイッチを入れ直して再度お試しください。

使用する際は、家庭用エアコンとの併用は避け、電子レンジ単体で使用してください。

アシストテーブルの使いかた



冷蔵庫の上にアシストテーブルが収納されています。

アシストテーブル前板を指で押すと、天板が飛び出しますので、すべて引き出しますとロックが掛かり固定されます。

収納する場合は天板の左右にあるグレーのレバーを引くとロックが解除されますので、テーブルを元の位置に押し込んで収納してください。

ロック解除レバー
(グレー色)

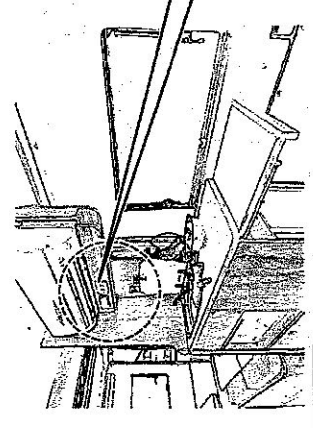
9. FFヒーター

はじめに

Op
option

FFヒーターの操作方法

FFヒーターのスイッチは、
下図の位置にあります。

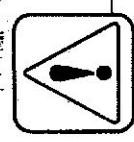


メニュー
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

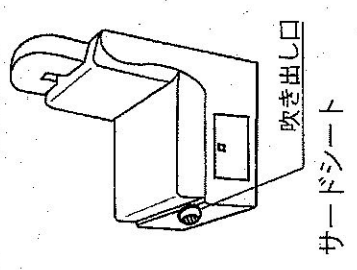
● 操作ダイヤル/ボタン (中心部)
回す: 項目の選択
押す: 決定
長押し (2秒間): 電源 OFF/クイックスタート

● 戻るボタン

残り運転時間 現在の車内温度

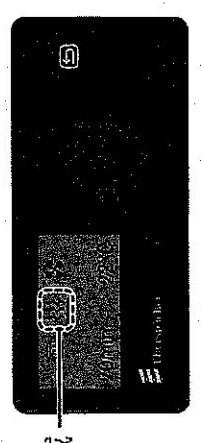


燃料計の目盛りが点滅している
状態でFFヒーターを使用しない
いでください。燃料が少ない
状態で使用するとガス欠の原因
となります。

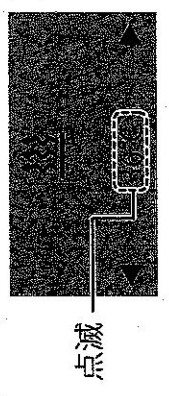


暖房の使いかた

① 操作ダイヤルを回し、③ (暖房) を選んで、
ボタンを押す。



② 操作ダイヤルを回し、設定したい温度に
合わせ、ボタンを押す。



暖房を切りたとき

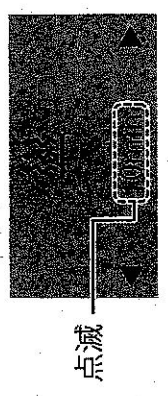
● 操作ダイヤルのボタンを長押し (2秒間) す
ることで運転を切ることができます。

※ その他機能の設定方法は付属の取扱説明書を参照してください。

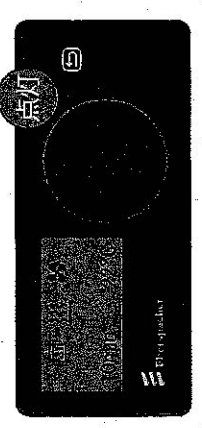
クイックスタート

● 電源 OFF 時に操作ダイヤルのボタンを長押し
(2秒間) することで素早く暖房運転を開始しま
す。②～③で設定した温度と時間で開始します

③ 操作ダイヤルを回し、運転時間 (切タイマー
を選んで、ボタンを押す。



※ 暖房運転を開始し、ダイヤルの周りが赤く
点灯します。



FFヒーター

Op
option

定期メンテナンス表示

4ヶ月間使用しなかった場合、夏季であっても「暖房」機能を10分間運転する
ように表示画面に左記のような注意が表示されます。
短い運転時間であっても装置内の残留物や堆積物を取り除かれ、暖房が必要
な時期でのヒーターの正しい作動が保証されます。

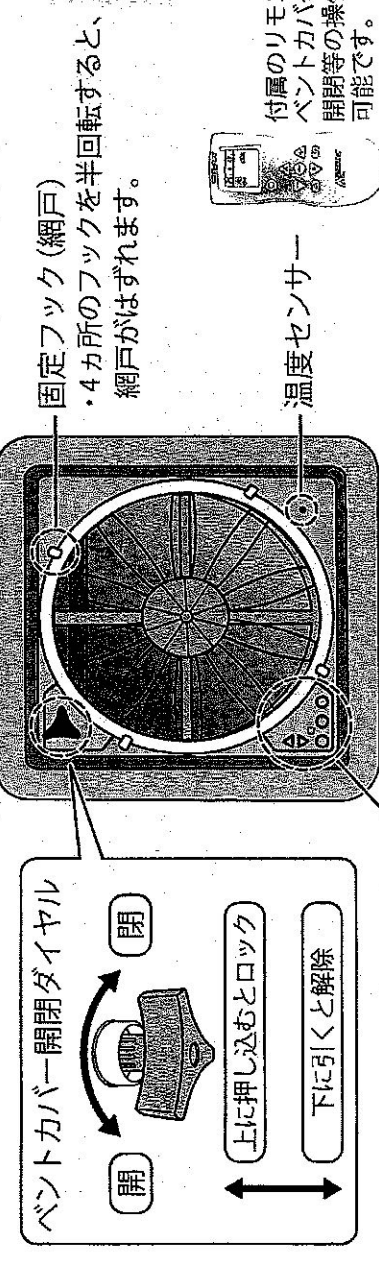
エラーメッセージ

メンテナンス以外でマークが表示された場合は、付属の取扱説明書の「トラブル時の対処」
し、エラーメッセージを確認してください。
解決されない場合は、最寄りの販売店にご相談ください。

- 給油の際はFFヒーターを必ず「完全停止」してください。引火の恐れがあります。
- 車両燃料タンクには、水抜き剤や添加物は混入しないでください。
- (ヒーターがオーバーヒートしたり、故障する可能性があります。)
- FFヒーター本体・吸気口・吹き出し口付近に物を置かないでください。
- (吸気・排気が正常に行われず、エラーの原因になります。)
- ※ 吸気口にペットの毛などが付着している場合は取り除いてください。
- ※ 使用中・使用後はマフラーが高温になっていますので、やけどに注意してください。
- ※ 長期使用されない場合でも、1ヶ月に一度20分程度使用してください。
- ※ 標高によっては、作動限界を超えて失火することがありますが、故障ではありません。
- ※ 再始動を繰り返すとススが発生し、故障の原因になります。マフラーからススが出る
場合は、点検が必要です。最寄りの販売店にご相談ください。

9. マックスファンベンチレーター

Op
option



ベントカバー開閉ダイヤル

開 閉

上に押し込むとロック

下に引くと解除

キーパッドコントロール

・各ボタンを押したときに「ピッ」という作動音が鳴ります。
※操作方法は下記を参照してください。

シーリングファンモード

・ファンが回っているときにベントカバーを開けると、シーリングファンモードになります。
ファンは回り続け、車内の空気を循環します。

キーパッドコントロールの使いかた

+ ボタン

手動で使用しているとき

- ・押すたびにファンの回転速度を上げます。
※ファンの回転速度が最大になると、「ピッ」という短い作動音が2回鳴ります。

オートモードを設定しているとき

- ・押すたびに設定温度を 1°F (0.55°C) 上げます。

- ボタン

手動で使用しているとき

- ・押すたびにファンの回転速度を下げます。
※ファンの回転速度が最小になると、「ピッ」という短い作動音が2回鳴ります。

オートモードを設定しているとき

- ・押すたびに設定温度を 1°F (0.55°C) 下げます。

電源入/切ボタン

ON/OFF

・運転の入/切を行うときに使用します。

オートモードランプ

吸気/排気切り換えボタン

・ファンの「排気」と「吸気」を切り換えたいときに使用します。
・ボタンを押すとファンがゆっくり停止し、逆回転します。

オートモードボタン

・設定した温度によって自動的にファンを回転させるモードです。設定すると、オートモードランプが点灯します。
・初期温度は 25.6°C (78°F) に設定されています。
・3秒以上長押しすると、設定温度は 25.6°C にリセットされます。
・「ルーフベント」スイッチを切ると、設定温度は 25.6°C にリセットされます。

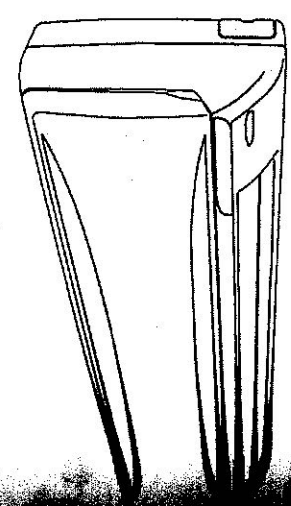
!

- ・走行時はベントカバーを完全に閉じてください。
- ・使用時は必ずベントカバーをロックさせてください。
- ・清掃するときは、必ず電源を「OFF」にし、水または中性洗剤を使用してください。

家庭用エアコン

Op
option

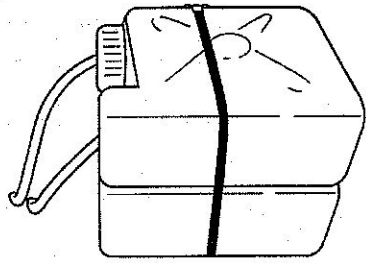
家庭用エアコンの使いかた



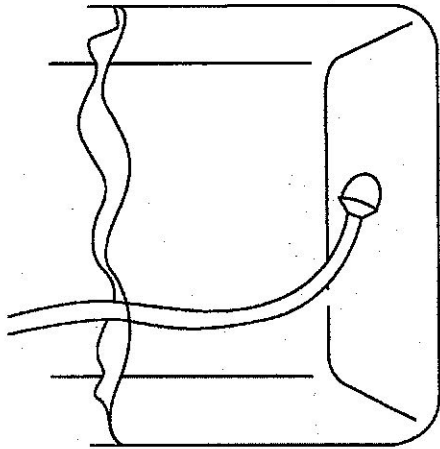
- ① 外部電源コードを外部コンセントに接続するもしくはインバータスイッチをONにします。
- ② 付属の家庭用エアコンの取扱説明書に従い、要領を守って使用してください。

- ・家庭用エアコンをご使用の際は、車両を水平な場所に駐車させてからご使用ください。
- ・走行中や傾斜のある場所で使用した場合に、水がこぼれることがあります。
- ・室外機の中に水が入らないように注意してください。
- ・家庭用エアコンは電力の消費が大きくなります。バッテリー残量を確認して余裕をもって使用してください。

10. 給水タンク、排水タンク



給水タンクと排水タンクは、ギヤレーの下の収納庫にあります。



給水タンクの中に水を入れ、給水ホースを入れます。
給水ホースはタンクの底まで入れてください。

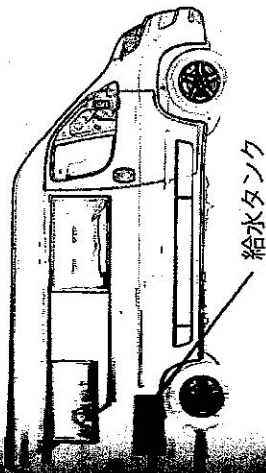


- ・タンク、ホース、フィルターは使用前に洗浄してください。
- ・キャンブ終了後は水を捨ててください。
- ・夏場は水が傷みやすいので注意してください。
- ・冬場は凍結の恐れがありますので、タンクとポンプの水抜きをしてください。

→P.46～47

給水タンク(60L)

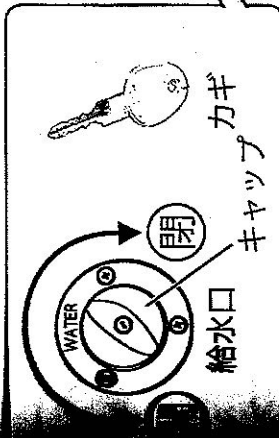
Op
option



給水タンクは車内の右側二の字シート内にあります。

給水タンクに水を補給する方法

給水口用のカギを差し込み左回りでロック解除。鍵を差したままキャップを左に回すとキャップが外れます。閉じる時は逆の手順で行います。

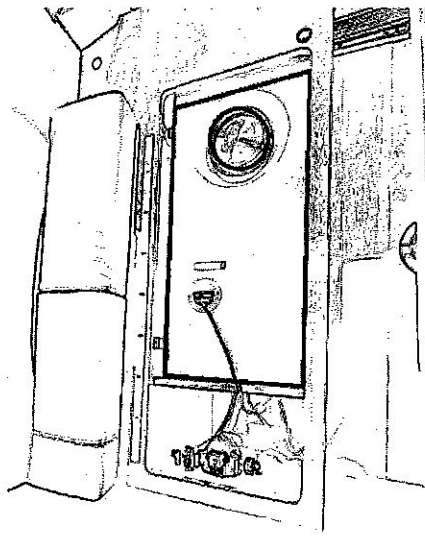


給水口から給水タンクに水を入れます。

給水タンクの水の捨てかた

タンク内の水を捨てるときは、タンク内の水を排水タンクに移して捨ててください。

二の字シートのマットを外すと給水タンクがあります。メンテナンスを行う際は、この蓋を開けてください。

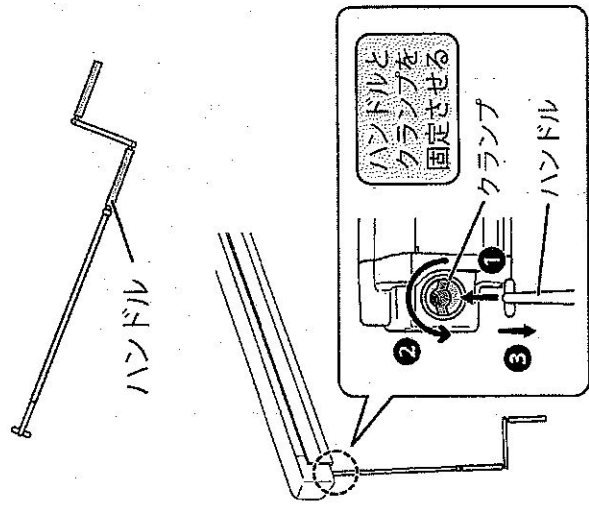


- ・給水タンクは使用前に洗浄してください。
- ・使用後、残った水は必ず捨ててください。
- ・夏場は水が傷みやすいので注意してください。
- ・冬場は凍結の恐れがありますので、水抜きをしてください。

10 サイドオーニング

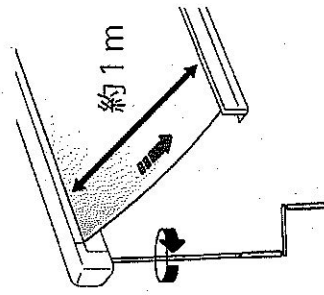
Op
option

サイドオーニングの出しかた

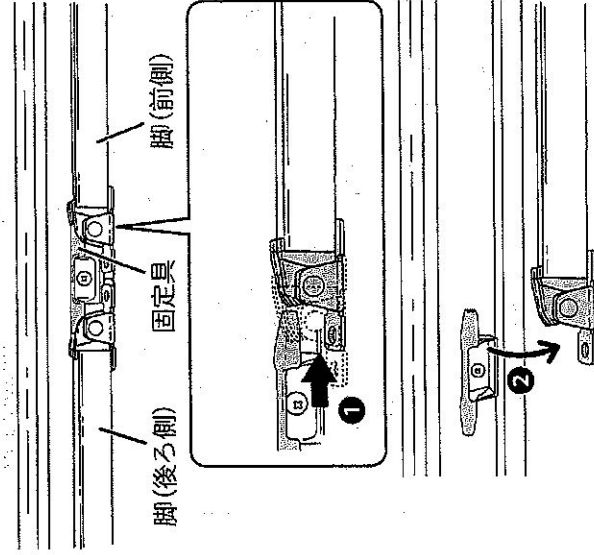


- ① ハンドルをクラップに固定します。
- ② クラップにハンドルの先端を挿入します。
- ③ ハンドルを反時計回りに回します。
- ④ ハンドルを下に引きます。

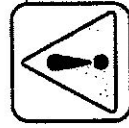
- ② ハンドルを左図の矢印方向に回すと、オーニングが出てきます。
(回し始めに少し抵抗があります。)
約1メートル出したら、オーニングの下に入り脚を出す準備をします。



オーニング内側



ストッパーを掛けないと、脚をおろすときに脚の先端が飛び出し、けがをすることおそれ、または車体にキズが付く原因になります。



- ② 脚を少し手前にずらします。

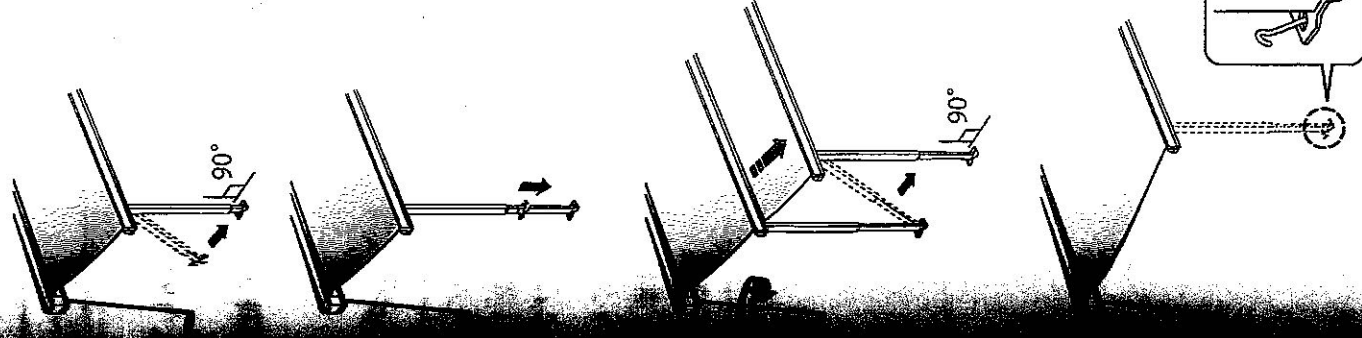
- ③ オーニングの内側に取り付けられた脚を取りずします。

- ① 脚の先端を付け根側に押すと、固定具から脚はずれます。

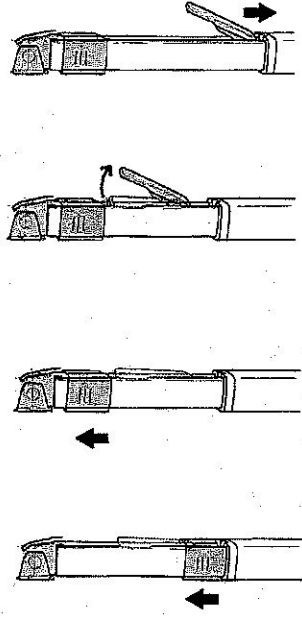
サイドオーニング

Op
option

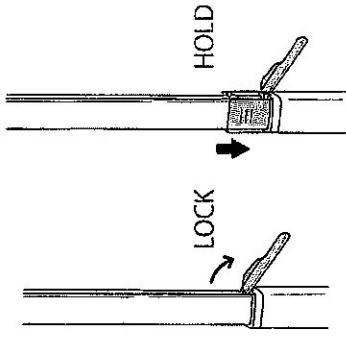
サイドオーニングの出しかた



- ④ 左右の脚を地面と垂直になる位置におろします。
- ⑤ ストッパーを解除し、脚の先端を地面に着けます。



脚の先端が地面に着いたら、再度ストッパーを掛け直します。



- ⑥ 脚が地面と垂直になる位置を保ちながら、再びオーニングをお好みの位置まで出します。

- ⑦ オーニングの出し幅・脚の高さが決まったら、ペグを地面に打ち込み、脚を固定します。
※ペグは工具袋の中にあります。

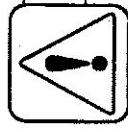
- ⑧ ハンドルを取りはずします。
※①の逆の手順を行ってください。

使用上の注意を必ずお読みください [→ P.51]

ここにペグが打てない場所では、ボディーに取り付けてあるピボットを使用し、固定します。ピボットに固定する方法 [→ P.51]

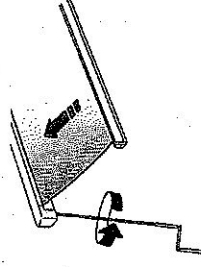
10. サイドオーニング

Op
option



使用上の注意

- ・雨天時や強風時はサイドオーニングを使用しないでください。
- ・オーニングを収納するときは、オーニングに付着した異物を除去してから収納してください。
- ・突然の雨によりオーニングが濡れたまま収納した場合は、晴天時に一度開いて乾燥させることをおすすめします。
- ・手動でオーニングを収納する際は「時計回り」で収納してください。逆に回すと本体に納まりません。
- ・脚を収納する際は、脚が確実に固定されていることを確認してから、オーニングを収納してください。



ソーラーチャージャー

Op
option

ソーラーパネルはルーフに設置されています。日陰では発電できませんので、充電が必要な場合は直射日光の当たる場所に駐車してください。



ソーラーチャージャーのコントロールユニットは、セカンドシートの内部に設置されています。

- ※コントロールの機能として過充電防止装置が付いています。サブバッテリーが一定量に達した場合は自動停止します。

ソーラーパネルは定期的に清掃してください。

また、落ち葉などが多く載ってしまうと、十分に発電できませんのでご注意ください。

ソーラーパネルの清掃の際は、足元に十分注意してください。

ソーラーパネルを踏んだり、手をついたりしないでください。

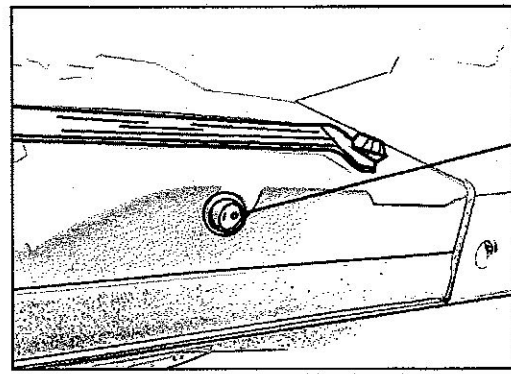
めると怪我をする恐れがあります。

春と冬では陽射しの強さや照射角度で充電量が異なります。

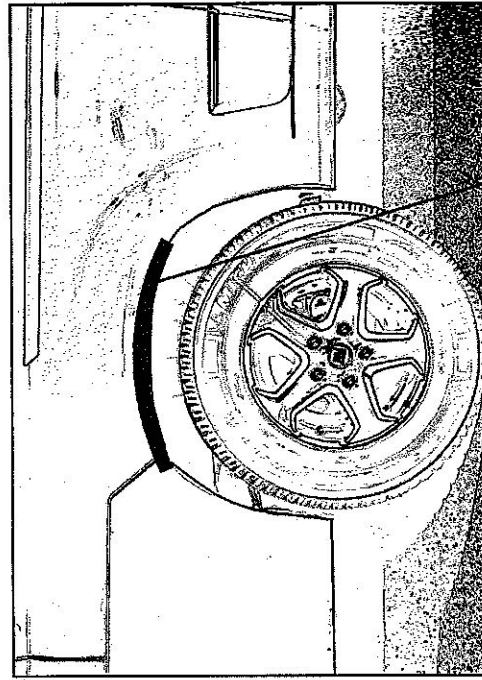
10 ドッグライト

ドッグライトスイッチの操作のしかた

ドッグライトスイッチは運転席側Bピラーにあります。側方の視認性が悪い時にご使用ください。



ドッグライトスイッチ

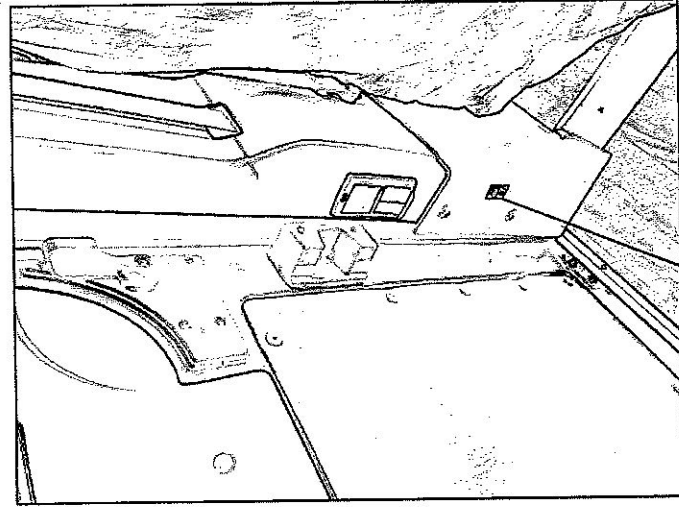


リヤタイヤハウス
ドッグライト点灯部

11 電動スライドステップ

電動ステップの使用のしかた

電動スライドステップのスイッチは助手席側Bピラーにあります。



とじる

ひらく

電動スライド
ステップスイッチ



- ・電動スライドステップを動かす際は、足や隣の自動車等に当たらないよう十分に気をつけてご使用してください。
 - ・電動スライドステップを出したまま車を動かしますと大変危険ですので、必ず電動ステップが格納されていることを確認してから車を動かすようにしてください。
- 電動スライドステップの格納忘れ防止機能として、電動スライドステップが出たまま車のエンジンを掛けると、「ピー」というブザーが鳴るようになっています。一度エンジンを切り、電動ステップを格納してから運転してください。

12) スペアタイヤ、工具

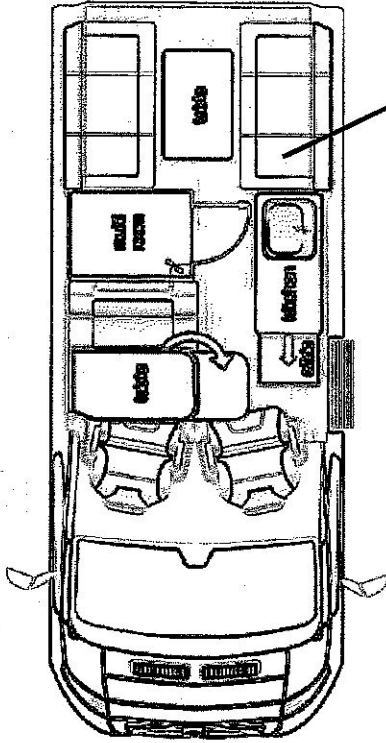
スペアタイヤ

本車両にスペアタイヤは搭載されておりません。
パンクし場合は、車両の取扱説明書をご確認いただき、
助手席ドアポケットにございます。
タイヤリペアキットにて修理を行ってください。

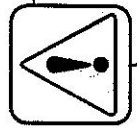


※詳しい作業手順はベース車の取扱説明書を参照してください。

工具



※工具箱は二の字シート内にあります。



- ・バンク修理は安全な場所に駐車してから行ってください。
- ・車両重量が普通車に比べ重いため、プロに依頼されることをおすすめします。

13) トラブルシューティング

症 状	原因と対処方法	参照 ページ
走行時		
ハンドルがふらつく	タイヤの空気圧を確認してください。 車体の形状が風を受けやすいため、強風時は減速して走行してください。 上記以外の場合は最寄のディーラーにご相談ください。	- 4 -
異音が生ずる	各収納庫内部のお荷物の状態を確認してください。 キャンピング部以外から異音が生ずる場合は、最寄のディーラーにご相談ください。	-
ダイネットテーブル		
脚のロックが効かない	操作方法を誤った場合、部品が破損し、ロック機能が正常に働くなる場合があります。 最寄の販売店にご相談ください。	17
照明器具		
照明の明かりが暗くなってきた	サブバッテリーの電圧が低下しています。充電を行ってください。	-
照明が点灯しない	メインスイッチと照明スイッチが両方ともONになっていますか？	25
走行充電		
充電しない	ヒューズが飛んでいませんか？ ヒューズが飛んでいる場合、最寄の販売店にご相談ください。	-
外部充電		
	外部電源コードの接続を確認してください。	27
充電しない	ブレーカーが落ちている可能性があります。 ブレーカーを上げてもらうに落ちる場合は、最寄りの販売店にご相談ください。	32 -
インバーター		
使用できない	サブバッテリーの電圧が低い場合は、使用できないことがあります。 十分に充電してから使用してください。	-
サブバッテリー		
すぐに減る	充電は十分に行われていますか？ お出かけ前、ご帰宅後に外部充電を利用し充電を行ってください。 長期のお出掛けの場合、一日に一度は走行充電や外部充電で100%まで充電してください。 長年使用されてバッテリーが寿命になった場合は、最寄りの販売店でバッテリー交換を依頼してください。	-
シンクセット		
水が出ない	水道(ポンプ)スイッチは「ON」になっていますか？ ヒューズが切れていないか確認してください。 何度も切れる場合は最寄の販売店にご相談ください。 給水タンクのホースが底まで挿入されていますか？	35 - -
水が漏れている	年数を重ねるとシーリングやパッキンが劣化します。 早めのメンテナンスをおすすめします。最寄りの販売店にご相談ください。	-

13) トラブルシューティング

症状	原因と対処方法	参照ページ
冷蔵庫		
冷えが悪い	冷蔵庫内に物が入りすぎていませんか？	-
	冷蔵庫内いっぱいに物を入れると冷えが悪くなります。 温度調整ダイヤルを確認してください。 夏場は特に低めに設定してください。	33
電子レンジ		
作動しない	外部電源コードがしっかりと接続されていることを確認してください。 または、インバータの電源がONになっていることを確認してください。	36
	電子レンジ内部が高温になり、制御装置が働いている可能性があります。 しばらく冷ましてから再度使用してください。	-
FFヒーター		
作動しない	サブバッテリーの電圧が低下している場合は作動しません。 エンジンをかけた状態で再スタートしてください。	-
	燃料が不足していませんか？燃料を入れてください。	-
	燃料計の目盛が3分の1以上あることをおすすめます。	-
	燃料に添加剤や水抜き剤を混入していませんか？ 故障の原因になりますので、燃料がなくなるまで稼働しないでください。	-
稼働後すぐに停止する または、風量が弱くなる	吹き出し口が荷物で塞がっていませんか？ 吹き出し口が荷物などで塞がっていると、オーバヒート防止のため、ヒーターは停止します。	37
	吹き出し口が吸気口の方へ向いていませんか？ 吸気口からの空気温度でサーモスタットが働きます。 吹き出し口を吸気口以外の方向に向けてください。	-
サイドオーニング		
オーニングがしっかり 納まらない	収納するときには回転方向を誤ると本体に納まりません。 「時計回り」で収納してください。	51
	脚の収納方法を誤ると本体に納まりません。収納時は注意してください。 収納時に巻取りが偏ってしまったり可能性がります。一度すべてオーニングを出し、少しづつ巻取りながら、脚の移動を細かく行い収納してください。	49
風にあおられて オーニングが壊れた	巻取り可能な場合は収納し、最寄の販売店にて点検を受けてください。	-
ソーラーチャージャー		
充電しない	サブバッテリーの残量を確認してください。バッテリーが一定量を満たしている場合、過充電防止が働き充電を中止しています。	52
	日陰に停車していませんか？直射日光が当たる場合に発電します。 車両の位置を移動してください。	52
	ソーラーパネルの上に落ち葉などが多くついているいませんか？ 清掃を行ってください。	52
	サブバッテリーの寿命が近づいていませんか？ サブバッテリーの寿命が近づき能力が落ちていくと充電しません。	-
テレビ		
テレビの映りが 悪い・映らない	テレビ本体の地域設定は出来ていますか？ お出かけ先の地域に合わせ毎回設定が必要です。 設定の方法はテレビの説明書を参照してください。	-
	地域や停車場所によっては受信しにくい場合があります。	-

14) 電気系統図

